

# 富山情報ビジネス専門学校 学 則

## 第1章 総 則

### 第1条 (目的)

本校は、建学の精神に（別表1）に則り、高潔な人間性を基礎とする豊かな教養と専門知識の修得に努め、変転する社会に貢献し得る人材の育成を目的とする。

### 第2条 (名称)

本校は、富山情報ビジネス専門学校と呼称する。

### 第3条 (所在地)

本校の所在地は富山県射水市三ヶ 576 番地とする。

### 第4条 (自己点検・評価)

1. 本校は、その教育における一層の充実を図り、本校の目的及び社会的使命を達成するため、本校における教育活動等の状況について自ら点検及び評価を行うものとする。
2. 前項の点検及び評価の実施に関し、必要な事項は別に定める。

## 第2章 課 程 及 び 定 員

### 第5条 (課程、学科、修業年限、定員等)

本校の課程、学科及び修業年限並びに定員は次のとおりとする。

課程名	学科名	コース名	修業年限	入学定員	総定員	昼夜の別	備考
工業専門課程	情報システム		2年	40人	80人	昼間	
	ゲームクリエイター		3年	20人	60人	昼間	
	建築・デザイン		2年	20人	40人	昼間	
	先端技術研究科		1年	10人	10人	昼間	
	建築士研究科		1年	10人	10人	昼間	
医療専門課程	歯科衛生士学科		3年	30人	90人	昼間	
商業実務 専門課程	Webクリエイター		2年	30人	60人	昼間	
	ホテル・ブライダル		2年	15人	30人	昼間	
	美容・医療事務		2年	30人	60人	昼間	
	診療情報管理士研究		1年	10人	10人	昼間	
	インターナショナルビジネス		2年	20人	40人	昼間	
	情報ビジネス		2年	15人	30人	昼間	
	大学併修学科		4年	10人	40人	昼間	

文化・教養 専門課程	(公務員)		1年	10人	10人	昼間	(授業停止中)
	日本語	1年半課程	1.5年	20人	40人	昼間	
		2年課程	2年	20人	40人	昼間	

### 第3章 学年・学期および休日

#### 第6条 (在籍年限)

各学科・各コースにおける在籍年限は前条の修業年限の倍を超えることはできない。

但し、日本語学科の在籍年限は修業年限とする。

第5条で定める修業年限を超えて在学し、単位を修得し卒業する者を長期履修生とする。

長期履修生に関する修業年限は5条に定める修業年限に1年を加える。在学年限について長期履修生の修業年限の倍とする。

#### 第7条 (学年)

学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

但し、日本語学科1年半課程においては、1年次は10月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

#### 第8条 (学期)

学年を分けて次の2学期とする。

前期：4月1日から 8月31日まで

後期：9月1日から 3月31日まで

但し、日本語学科においては、

前期：4月1日から 9月30日まで

後期：10月1日から 3月31日まで

とする。

#### 第9条 (休日)

休日は次のとおりとする。

1. 日曜日および国民の祝日
2. 春期休暇：3月中旬から授業、学校行事等を勘案して校長が決定する
3. 夏期休暇：7月下旬から前項に準じて決定する
4. 冬期休暇：12月上旬から前々項に準じて決定する

## 第4章 学科課程・授業日数および卒業

### 第10条（履修課程）

本校の学科課程およびその履修科目ならびに付与する単位は別表2に定める。

### 第11条（履修方法）

1. 本校における各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成し、次の基準により単位数を計算するものとする。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で、定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で、定める時間の授業をもって1単位とする。

2. 本校の1年間の授業日数は定期試験（前期期末および後期期末）等の日数を含め、30週にわたる150日を原則とする。但し、日本語学科は前期18週、後期18週で36週（180日）とする

3. 各授業科目の授業は15週にわたる期間を単位として行う。

但し、教育課程上特別の必要があると認められる場合は、一部変更することがある。

### 第12条（評価と単位認定）

1. 各授業科目の単位評価は100点満点とし、90点以上をA、80点以上をB、70点以上をC、60点以上をDとして単位を認定する。

60点未満をFとして単位を認定しない。採点にあたっては課題、授業姿勢、テスト・その他などの内容を考慮する。

2. 欠席時数が講義時数の20%を超える場合は当該科目を不認定とする。

3. 教育上有益と認めるときは、以下の内容を課程の修了に必要な総授業時数の2分の1を超えない範囲で、本校の履修科目として認定する。また、本校学生が入学前に、行った以下の内容でも、同等の扱いとする。

- ①他の大学、短期大学または専門学校、その他教育機関との協議により履修した、当該大学等の授業科目。
- ②専門課程に相当する教育を行っている外国の教育施設における学習成果。
- ③認定社会通信教育、遠隔授業、技能審査、ボランティア、インターンシップ等。

### 第13条（追試験）

病気、就職選考、忌引、その他やむを得ない事由により受験しえなかった者は、試験終了後5日以内に事由を詳細に記し、証明資料を添えて校長あて追試験の許可を願い出ることができる。

#### 第14条（追試験の実施）

学期末試験の追試験の実施は、1学期に1回行う。

#### 第15条（受験心得）

学期末および卒業試験受験の心得

1. 不正行為を発見した時は退場を命じ採点は0点とする。
2. テキスト、ノート、参考書等の持ち込みの可否は授業毎に指示する。

#### 第16条（進級）

以下の各学科において、進級に必要な単位数以上を取得した者および進級に必要な時間数以上を履修した者は、1年から2年に進級することができる。※2年から3年、4年は除く

学科名・コース名		進級に必要な単位数および時間数
情報システム学科		31 単位以上
ゲームクリエイター学科		31 単位以上
建築・デザイン学科		31 単位以上
歯科衛生士学科		31 単位以上
Web クリエイター学科		31 単位以上
ホテル・ブライダル学科		31 単位以上
美容・医療事務学科		31 単位以上
インターナショナルビジネス学科		31 単位以上
情報ビジネス学科		31 単位以上
大学併修学科		31 単位以上
日本語学科	1 年半課程	400 時間以上
	2 年課程	800 時間以上

## 第 17 条（卒業）

日本語学科以外の学科において、卒業に必要な単位数以上を取得した者および卒業必修科目を認定されている者は卒業することができる。

日本語学科において、以下の卒業に必要な時間数以上を履修した者は、卒業することができる。

学科名		卒業に必要な単位数および時間数
情報システム学科		62 単位以上
ゲームクリエイター学科		93 単位以上
建築・デザイン学科		62 単位以上
先端技術研究科		31 単位以上
建築士研究科		31 単位以上
歯科衛生士学科		93 単位以上
Web クリエイター学科		62 単位以上
ホテル・ブライダル学科		62 単位以上
美容・医療事務学科		62 単位以上
診療情報管理士研究科		31 単位以上
インターナショナルビジネス学科		62 単位以上
情報ビジネス学科		62 単位以上
大学併修学科		124 単位以上
公務員学科		31 単位以上
日本語学科	1 年半課程	1200 時間以上
	2 年課程	1600 時間以上

## 第 18 条（留年）

進級または卒業できないものは留年とする。留年となった者は、進級、卒業に必要な不足単位について再履修するものとする。

## 第 19 条（卒業証書の授与・称号の授与）

1. 本校所定の課程を修了したと認められる者に対し卒業証書を授与する。
2. 以下の学科を卒業した者には専門士の称号を授与する。

課 程 名	学 科 名
工業専門課程	情報システム学科
	ゲームクリエイター学科
	建築・デザイン学科

医療専門課程	歯科衛生士学科
商業実務専門課程	Web クリエイター学科 ホテル・ブライダル学科 美容・医療事務学科 インターナショナルビジネス学科 情報ビジネス学科

3. 以下の学科を卒業した者には高度専門士の称号を授与する。

課 程 名	学 科 名
商業実務専門課程	大学併修学科

## 第5章 入学・休学および退学

### 第20条（入学資格）

本校の入学試験受験資格は次のとおりとする。

1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者若しくは通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）又は文部科学大臣の定めるところにより、これと同等以上の学力があると認められた者とする。
2. 日本語学科においては、上記第1項に加えて日本語の学習経験がある者とする。

### 第21条（出願手続）

入学志願者は所定の願書および必要書類に受験料20,000円を添えて出願手続をしなければならない。

### 第22条（入学者の選考）

前条の出願手続を終了した入学志願者については、本校募集要項の定めるところにより、入学選考を行う。

### 第23条（入学許可ならびに手続）

1. 入学選考合格者は、所定の期日までに保証人を定め、別表3-1の当該学科の学費を納入して入学手続を完了しなければならない。

学費とは、入学金・授業料・施設設備費・演習充実費とする。但し、日本語学科においては、入学金・授業料とする。

日本語学科においては、学費と併せ、諸経費を納入しなければならない。

2. 4月入学生においては、入学年度の前年度3月31日までに入学を辞退した場合は、納入された学費のうち、入学金以外を返金する。日本語学科1年半課程の10月入学生においては、入学年度の9月30日までに入学辞退の場合は、入学金以外を返金する。
3. 保証人は、本人の在学中の学費、生活、勉学、素行のすべてに責任を負うものとし、本人の保護者またはそれに代わるべき人でなければならない。
4. 保証人が死亡または前項の要件を欠いたときは直ちに保証人の変更を届けなければならない。

#### 第24条（休学）

1. 学生が病気その他、本校が認めるやむをえない事情のため、前期又は後期の全期間にわたり修学することができないときはこれを証明する書類を添えて保証人連署の上、休学届を提出しなければならない。但し、休学期間は原則として連続2年を超えることはできない。
2. 休学者は、休学した学期の試験を受けることはできない。
3. 休学中の「学期」の学費（入学金を除く）については納付を免除する。但し、既に納付済の場合は返還しない。
4. 休学者が復学を希望する場合は復学届を提出しなければならない。復学する場合は原級に復するものとし、当該「学期」の学費（入学金を除く）を納付しなければならない。

#### 第25条（退学・転科・転学）

1. 退学しようとする場合は、保証人連署の上、退学届を提出し、許可を受けなければならない。
2. 退学した者で、3年以内に再入学を願い出た者に対しては、在学時の成績を考慮し、審査を経てこれを許可することがある。  
この場合、退学以前の在学期間および修得科目は所定の在学年限および修得科目にそれぞれ算入する。
3. 本校の学生が学内の転科を希望するときは、審査を経てこれを許可することがある。
4. 他の大学、短期大学、専門学校から本校に転入学を希望する者があるときは、選考の上これを認めることがある。  
既修得単位の認定は、学則第12条第3項に基づくものとする。
5. 本校から他の専門学校へ転学しようとする者は、校長の許可を受けなければならない。

#### 第26条（除籍）

学生が次の各号に該当する場合は除籍される。

1. 病気その他の理由で学業の継続が不可能と認められたとき。
2. 延納・分納の届けが無く、学費を納入しないとき。
3. 学生が死亡したとき。

## 第6章 教 職 員

### 第27条（教職員）

1. 本校には次の教職員を置く。

校長

専任教員

講師

事務職員

教務職員

校医

校務員

2. 教員の定員、資格は専修学校設置基準による。
3. 校長は校務を総括し、所属教職員を監督する。
4. 校長を除く教職員は校務を分担する。

## 第7章 学 費 等

### 第28条（学費）

本校の受験料は入学願書提出時に納付する。また、学費は別表（3-1）のとおりとする。

### 第29条（学費の納入）

1. 学費は所定の期日までに納入しなければならない。
2. 学費を所定の期日までに納入できないやむをえない事情があるときは、延納・分納を認めることがある。
3. 既に納入された学費は、第23条第2項に該当する場合以外は返金しない。ただし、明らかに重複または超過納入になった場合やその他校長が必要と認めた場合にはこの限りではない。

## 第8章 聴講生および外国人留学生

### 第30条（聴講生）

1. 本校専門課程の学科目の聴講を希望する者に対しては、収容人員に余裕がある場合に限り、聴講生として聴講を許可する。また、必要と認めたときは、その履修科目に対して単位を与えることができる。
2. 聴講生料は別表（3-2）のとおりとする。
3. 学則第20条の入学資格を有する外国人で、留学を希望する者は、選考の上受け入れることがある。

## 第9章 懲 戒

### 第31条（懲戒）

次の各号の1に該当する学生に対しては、学校長がこれを懲戒する。

1. 性行不良で改悛の見込みがないと認められる者
2. 修学努力が著しく不足していると認められる者
3. 正当な理由なくして出席が常でない者
4. 学内の秩序を乱しその他学生としての本分に反した者

### 第32条（懲戒の種別）

懲戒はその行為の軽重に従い、訓戒、停学および退学の3種類とする。

## 第10章 奨 学 生

### 第33条（奨学生）

本校学生で、学業、人物、健康とも優れた者を奨学生として援助する。

## 第11章 健 康 診 断

### 第34条（健康診断）

本校学生に年1回健康診断を実施する。

## 第12章 附 帯 教 育

### 第35条（附帯教育）

必要がある時は、国際交流、生涯学習教育等の附帯教育を行う。また、附帯教育の科目、単位及び受講料は別に定める。

### 附 則

この学則は、平成8年4月1日より施行する。

### 附 則

1. この学則は、平成9年4月1日から施行する。但し、第19条及び第28条の改正規定は、富山県知事への届出が受理された日（平成9年3月21日届出受理）から施行する。
2. 第19条の改正規定の施行の際、現に国際マーケティング学科及び経営学科に籍を有する学生については、改正後の第19条にかかわらず、なお従前の例による。

### 附 則

この学則は、平成10年4月1日より施行する。

附 則

この学則は、平成 11 年 3 月 1 日より施行する。

附 則

この学則は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。但し、第 5 条、第 19 条改訂規定の施行の際は、平成 12 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。但し、第 5 条改定規定の施行に関しては、平成 13 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成 14 年 4 月 1 日より施行する。

附 則

この学則は、平成 14 年 3 月 15 日より施行する。

附 則

この学則は、平成 15 年 4 月 1 日より施行する。但し、第 5 条改定規定の施行に関しては、平成 15 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成 15 年 3 月 14 日より施行する。

附 則

この学則は、平成 16 年 3 月 13 日より施行する。

附 則

この学則は、平成 17 年 4 月 1 日より施行する。但し、第 5 条改定規定の施行に関しては、平成 17 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の例による。

また、第 29 条改定規定の施行に関しては、平成 16 年 10 月 1 日より施行する。

附 則

この学則は、平成 17 年 3 月 14 日より施行する。

附 則

この学則は、平成 18 年 4 月 1 日より施行する。但し、第 5 条・第 6 条・27 条改定規定の施行に関しては、平成 18 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、平成 19 年 4 月 1 日より施行する。但し、第 5 条・第 6 条・第 10 条・第 16 条・第 17 条・第 27 条改定規定の施行に関しては、平成 19 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

また、第 3 条、第 8 条、第 9 条に関しては、学則受理の日より施行する。

附 則

この学則は、平成 20 年 4 月 1 日より施行する。但し、第 19 条の施行に関しては、学則届出の日（平成 19 年 10 月 22 日）より施行する。

附 則

この学則は、平成 21 年 4 月 1 日より施行する。但し、第 5 条・第 6 条・第 16 条・第 17 条・第 19 条改定規定の施行に関しては、平成 21 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、平成 22 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 19 条の施行に関しては、学則届出の日より施行する。

附 則

この学則は、平成 22 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 10 条、第 16 条の施行に関しては、学則届出の日より施行する。

附 則

この学則は、平成 23 年 4 月 1 日より施行する

但し、第 10 条改定規定の施行に関しては、平成 23 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附則

この学則は、平成 24 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 5 条、第 6 条、第 7 条、第 8 条、第 16 条及び第 17 条の改定規定の施行に関しては、平成 24 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、平成 25 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 5 条、第 6 条、第 17 条、第 19 条、第 20 条、第 22 条、第 25 条、第 27 条、第 28 条の改定規定の施行に関しては、平成 25 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、平成 26 年 4 月 1 日より施行する。

附 則

この学則は、平成 26 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 5 条、第 6 条、第 11 条、第 16 条、第 17 条、第 19 条、第 23 条、の改定規定の施行に関しては、平成 26 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、平成 27 年 4 月 1 日より施行する。

附 則

この学則は、平成 28 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 5 条、第 16 条、第 17 条、第 19 条、第 23 条、の改定規定の施行に関しては、平成 28 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、平成 29 年 4 月 1 日より施行する。

附 則

この学則は、平成 30 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 16 条、第 17 条の改定規程の施行に関しては、平成 30 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、平成 31 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 5 条、第 10 条、第 16 条、第 17 条、第 28 条の改定規程の施行に関しては、平成 31 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、令和 2 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 19 条の施行に関しては、学則届出の日より施行する。

第 5 条、第 10 条、第 12 条、第 16 条、第 17 条、第 23 条、第 25 条、第 28 条の改定規程の施行に関しては、令和 2 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、令和 3 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 19 条の施行に関しては、学則届出の日より施行する。

第 5 条、第 10 条、第 16 条、第 17 条、第 23 条、第 28 条の改定規程の施行に関しては、令和 3 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、令和4年4月1日より施行する。

但し、第5条、第10条、第16条、第17条、第19条、第23条、第28条の改定規程の施行に関しては、令和4年4月1日以降に入学する学生について適用し、同年3月31日現在在籍する学生については、なお従前の学則による

附 則

この学則は、令和5年4月1日より施行する。

但し、第5条、第10条、第16条、第17条、第19条、第23条、第28条の改定規程の施行に関しては、令和5年4月1日以降に入学する学生について適用し、同年3月31日現在在籍する学生については、なお従前の学則による

附 則

この学則は、令和6年4月1日より施行する。

但し、第5条、第10条、第16条、第17条、第19条、第23条、第28条の改定規程の施行に関しては、令和6年4月1日以降に入学する学生について適用し、同年3月31日現在在籍する学生については、なお従前の学則による

附 則

この学則は、令和7年4月1日より施行する。

但し、第5条、第10条、第16条、第17条、第19条、第23条、第28条の改定規程の施行に関しては、令和7年4月1日以降に入学する学生について適用し、同年3月31日現在在籍する学生については、なお従前の学則による

附 則

この学則は、令和8年4月1日より施行する。

但し、第5条、第10条、第16条、第17条、第19条、第23条、第28条の改定規程の施行に関しては、令和8年4月1日以降に入学する学生について適用し、同年3月31日現在在籍する学生については、なお従前の学則による

## カリキュラム編成表（授業科目等の概要）

		令和8年度 工業専門課程（情報システム学科）														
科目区分①	科目区分②	年次	学期	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法					
				必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技			
専門	AIプログラミング専攻 システムエンジニア専攻 共通	コンピュータ知識	1	前期	○		コンピュータ概論ⅠA	コンピュータの構造・原理・周辺機器の理解・コンピュータシステムに関する基礎知識の理解・ネットワークシステム・データベースシステムに関する基礎知識を理解する。	90	6	○					
			1	前期	○		システム開発と情報化ⅠA	要求仕様に沿ったコンピュータシステムを開発するための基本的知識を修得することを目標とする。また後半では、主に情報処理技術者試験のマネジメント・ソフトウェア分野知識を中心に学ぶ。	90	6	○					
			1	前期	○		アルゴリズムとデータ構造ⅠA	論理的な思考の訓練を行う。プログラミング基礎であるアルゴリズムを理解することで論理的思考の訓練を行うとともに問題解決の手順を理解し、情報処理技術者試験の基礎知識を学ぶ。	60	4	○					
			1	後期	○		アルゴリズムとデータ構造ⅠB	論理的な思考の訓練を行う。プログラミング基礎であるアルゴリズムを理解することで論理的思考の訓練を行うとともに問題解決の手順を理解し、情報処理技術者試験の基礎知識を学ぶ。	60	4	○					
			1	前期	○		情報セキュリティ基礎ⅠA	近年多様化・巧妙化する様々な脅威について知り、情報資産を正常に維持するための基本的な知識の理解と習得を目指すとともに、情報処理技術者試験の基礎知識を学ぶ。	30	1		○				
			1	後期	○		データベース基礎ⅠA	オープンソースデータベースを題材に、データベースの基本知識及び使用方法の習得を目的とする。	30	1		○				
			2	前期	○		ネットワーク基礎ⅡA	一般的に会社で利用されているWindowsネットワーク基礎知識に関して、実習を通して学習する。	30	1		○				
			1	前期		○	情報処理演習ⅠA	国家試験の情報処理技術者試験の合格を目指す。科目A・科目B問題の分野別の講義と模擬問題を実際に行い、解答、解説を行う。試験に対する傾向と対策を行う。	30	1		○				
			1	後期		○	情報処理演習ⅠB	国家試験の情報処理技術者試験の合格を目指す。科目A・科目B問題の分野別の講義と模擬問題を実際に行い、解答、解説を行う。試験に対する傾向と対策を行う。	60	2		○				
			1	前期			Java基礎ⅠA	現在、開発言語の主流となったJava言語の特徴と、適用業務を理解し、Javaプログラム演習を通して学習する。	90	3		○				
	1	後期	○		Java基礎ⅠB	現在、開発言語の主流となったJava言語の特徴と、適用業務を理解し、Javaプログラム演習を通して学習する。	90	3		○						
	1	後期	○		Web演習ⅠA	XHTMLとスタイルシート、JavaScriptを使ったWebページ作りを実際にテキストエディタでタグを記述しながら学びます。	30	1		○						
	2	前期	○		Web演習ⅡA	XHTMLとスタイルシート、JavaScriptを使ったWebページ作りを実際にテキストエディタでタグを記述しながら学びます。	30	1		○						
	1	後期	○		インターンシップⅠA	企業に体験実習で実践的な技術や就業に必要なコミュニケーションを身につける。	45	1			○					
	2	通年	○		最新IT技術ⅡA	最新IT技術を調査して、将来のIT動向を研究する。	30	1		○						
	AIプログラミング専攻	プログラム開発 技術習得	1	後期	○		AI概論ⅠA	AIの定義や種類、特徴、歴史等の基礎知識についての理解を深めるとともに、検定合格を目指す。	30	2	○					
			1	後期	○		Python基礎ⅠA	AIプログラミング言語の基本文法の習得を図る。	60	2		○				
			2	前期	○		AI演習ⅡA	AIプログラミング言語を用いたライブラリを活用し、AIプログラムを実装できることを目標とする。	90	3		○				
			2	前期	○		Java応用ⅡA	統合開発環境を利用して、SQL Serverを使用したデータベースのWebシステムを構築し、データベースシステム開発手法を学習する。	90	3		○				
			2	後期	○		プログラム開発技法ⅡA	データベースシステムの開発に先立つ設計工程と、開発後のテスト工程について、設計書の作成方法およびテスト計画・実施方法を体系的に学習する。	90	3		○				
2			後期	○		プログラムPBLⅡA	プログラム開発をグループで行い、課題解決に取り組む。	120	4		○					
2			後期	○		プログラムPBLⅡB	工程管理と成果発表に向けてテスト・資料製作・発表を行う。	30	1		○					
システムエンジニア専攻			ノーコード開発	2	前期	○		ノーコード開発ⅡA	ノーコード開発システムを利用した開発スキルを習得する。	30	1		○			
	システム設計	1		後期	○		クラウド基礎ⅠA	クラウド利用に必要な知識と活用方法を習得する。	60	2		○				
		2	前期	○		システム開発技法ⅡA	ウォーターフォール型のシステム開発手順における外部設計・内部設計の基本知識から実践まで、課題を通して理解を深める。	60	2		○					
		2	前期	○		プロジェクトマネジメントⅡA	企業で活用されている情報システムの構築を理解し、その構築プロセスや開発手法、プロジェクト管理など、システム開発に求められる要素を学ぶ。	30	1		○					
	ビジネスインダストリー及 びトレンドへの関心	2	前期	○		IT戦略概論ⅡA	システム開発についての企画を検討する。検討の際にはユーザーにとっての中長期的な戦略に沿ったIT提案となるように検討を行う。	30	1		○					
		2	前期	○		業務分析ⅡA	業務用アプリケーションを作成するために必要な基幹業務のあるべき姿を理解して、業務改善に必要な知識を身に付ける。	30	1		○					
		2	後期	○		業務分析ⅡB	業務用アプリケーションを作成するために必要な基幹業務のあるべき姿を理解して、業務改善に必要な知識を身に付ける。	60	2		○					
	卒業研究	2	前期	○		技術発表演習ⅡA	様々なビジネスシーンに必要なパソコンを利用したプレゼンテーションの技法を学ぶ。	30	1		○					
		2	後期	○		システムPBLⅡA	システム化できる課題を見つけ、システム企画の提案をグループで行う。	90	3		○					
		2	後期	○		システムPBLⅡB	システム化できる課題を見つけ、システム企画の提案をグループで行う。	90	3		○					
一般	一般	一般	1	前期		○	表現力ⅠA	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける。	30	1		○				
			1	前期		○	地域連携ⅠA	地域に関わる活動を通して、郷土愛を育むとともに課題発見能力、課題解決能力、コミュニケーション能力を育てる。	30	1		○				
			1	前期		○	総合演習ⅠA	校外研修や校内での企業連携授業などの学科活動を実施し、今後の就職への意識の向上や業界理解を促進する。また、校外研修における実践的なビジネスマナーを学ぶ。	30	1		○				
			1	後期		○	総合演習ⅠB	校外研修や校内での企業連携授業などの学科活動を実施し、今後の就職への意識の向上や業界理解を促進する。また、校外研修における実践的なビジネスマナーを学ぶ。	30	1		○				
			2	通年		○	総合演習ⅡA	地域連携等の学外での学生が主体的に行う活動を通して、学修成果を表現する。	30	1		○				
			1	前期		○	就職支援ⅠA	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○				
			1	後期		○	就職支援ⅠB	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○				
			2	前期		○	就職支援ⅡA	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○				
			2	後期		○	就職支援ⅡB	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○				
			合計								41 科目	2085 単位時間	80 単位			
			卒業要件及び履修方法											授業期間等		
			進級要件： 31単位以上取得											1 学年の学期区分		
卒業要件： 62単位以上取得 必修科目を取得していること											1 学期の授業期間					

## カリキュラム編成表（授業科目等の概要）

		令和8年度 工業専門課程（ゲームクリエイター学科）											コマ数			
科目区分①	科目区分②	年次	学期	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法					
				必修	選択必修	自由選択					講義	演習		実験・実習・実技		
専門	専門共通	1	前期	○			Unity I A	Unity の基本操作とC#の基礎を学習。2Dのアクションゲームを制作する	120	4		○		4		
		1	後期	○			Unity I B	Unity の応用的な部分を学習。3Dのアクションゲームを制作する	60	2		○		2		
		1	後期	○			Unity I C	UniTask、UniRXを中心にUnityに必須の機能を学習する	60	2		○		2		
		1	前期	○			C#演習 I A	C#の基本的な文法を教えると共に、オブジェクト指向の基礎編まで学習を行う	90	3		○		3		
		1	後期	○			C#演習 I B	オブジェクト指向の応用的な部分までの学習を行う	60	2		○		2		
		1	前期	○			アルゴリズムとデータ構造 I A	ソートやスタックなど基礎的なアルゴリズムの学習を行う	60	2		○		2		
		1	後期	○			アルゴリズムとデータ構造 I B	バックトラックやツリー探索など応用的なアルゴリズムの学習を行う	30	1		○		1		
		1	後期	○			C++演習 I A	C++の特性を理解し、基本的な文法を学習する	60	2		○		2		
		2	前期	○			Unreal Engine I A	ブループリントなどUnreal Engineの基本的な使い方を学ぶ	60	2		○		2		
		1	前期	○			デッサン I A	簡単な対象物を参考に、物の形、光と影、奥行きなどの理解を深める	30	1		○		1		
		1	後期	○			デッサン I B	簡単な対象物を参考に、物の形、光と影、奥行きなどの理解を深める	30	1		○		1		
		1	前期	○			ゲームグラフィック I A	2D ゲームに必要なグラフィック素材を制作しながら、グラフィックツールの操作方法を学習する。	60	2		○		2		
		1	後期	○			ゲームグラフィック I B	2D ゲームに必要なグラフィック素材を制作しながら、グラフィックツールの操作方法を学習する。	60	2		○		2		
		1	後期	○			ゲームグラフィック I C	Mayaの基本的な使い方を学び、3DCGの作成を行う	60	2		○		2		
		1	前期	○			ゲームプランニング I A	プランナー志望に必要な企画書の作り方について学ぶ	30	2	○			1		
		1	後期	○			ゲームプランニング I B	ゲーム分析を念頭に仕様書や作業依頼書などの書き方を学ぶ	30	2	○			1		
		2	前期	○			ゲームプランニング II A	ゲーム分析を念頭に仕様書や作業依頼書などの書き方を学ぶ	30	2	○			1		
		1	前期	○			作品制作 I A	就職活動に必要な、オリジナルゲーム作品の制作を行う	30	1		○		1		
		1	後期	○			作品制作 I B	就職活動に必要な、オリジナルゲーム作品の制作を行う	30	1		○		1		
		2	前期	○			作品制作 II A	就職活動に必要な、オリジナルゲーム作品の制作を行う	30	1		○		1		
		2	後期	○			作品制作 II B	就職活動に必要な、オリジナルゲーム作品の制作を行う	60	2		○		2		
		3	前期	○			作品制作 III A	就職活動に必要な、オリジナルゲーム作品の制作を行う	60	2		○		2		
		3	後期	○			作品制作 III B	就職活動に必要な、オリジナルゲーム作品の制作を行う	60	2		○		2		
		3	前期	○			ゲーム制作実践 III A	今まで作成したオリジナルゲームのブラッシュアップを行い、就職活動で提出する作品を制作する	180	6		○		6		
		2	後期	○			課題解決チャレンジ II A	地域の課題に対して、ゲーム制作を通して解決策を考え発表を行う	90	3		○		3		
		2	後期	○			課題解決チャレンジ II B	地域の課題に対して、ゲーム制作を通して解決策を考え発表を行う	90	3		○		3		
		3	後期	○			卒業制作 III A	地域連携事業を加味し、チームでオリジナルゲーム制作を目的とする。様々なプログラムごとに作業を分担し制作します。進捗状況をクラス内で確認し、最終的に作成したゲームを卒業制作発表会にて発表を行う。	90	3		○		3		
		3	後期	○			卒業制作 III B	地域連携事業を加味し、チームでオリジナルゲーム制作を目的とする。様々なプログラムごとに作業を分担し制作します。進捗状況をクラス内で確認し、最終的に作成したゲームを卒業制作発表会にて発表を行う。	90	3		○		3		
		3	後期	○			IT基礎知識 III A	企画書制作に必要なWordやExcelの使い方を学習する	120	4		○		2		
		3	後期	○			IT基礎知識 III B	企画書制作に必要なWordやExcelの使い方を学習する	120	4		○		2		
		ゲームプログラマー・プランナー専攻		2	前期	○			オンラインゲーム制作 II A	クライアントとサーバの関係性を理解し、より高度なゲーム制作を学習する	90	3		○		3
				2	後期	○			オンラインゲーム制作 II B	クライアントとサーバの関係性を理解し、より高度なゲーム制作を学習する	90	3		○		3
				2	前期	○			ゲームデザインパターン II A	SOLIDなど代表的なデザインパターンを理解し、実践できるようにする	60	2		○		2
2	前期			○			アルゴリズムとデータ構造	パスファインディングやゲームAIなど発展的なアルゴリズムの学習を行う	30	1		○		1		
2	前期			○			C++演習 II A	C++の特性を理解し、応用的な部分を学習する	60	2		○		2		
2	後期			○			先端技術活用 II A	AR、VR、XRなど最先端の技術について学ぶ	60	2		○		2		
ゲームグラフィックデザイナー専攻		2	前期	○			デッサン II A	より難しい対象物を、正確に書く方法について学ぶ	60	2		○		2		
		2	前期	○			ゲームグラフィック II A	Mayaの応用的な使い方を学び、3DCGの作成を行う	180	6		○		6		
		2	後期	○			ゲームグラフィック II B	Mayaの発展的な使い方を学び、3DCGの作成を行う	90	3		○		3		
		2	後期	○			キャラクターデザイン II A	Live 2Dの基本的な使い方を学び、2Dイラストを動的に動かす技術を学習する	60	2		○		2		
一般	一般	1	前期	○			表現力 I A	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	30	1		○		1		
		2	後期	○			インターンシップ II A	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	45	1			○	1		
		1	前期	○			総合演習 I A	校外研修や校内での企業連携授業などの学外活動を実施し、今後の就職への意識の向上や業界理解を促進する。また、校外研修における実践的なビジネスマナーを学ぶ。	30	1		○		1		
		1	後期	○			総合演習 I B	校外研修や校内での企業連携授業などの学外活動を実施し、今後の就職への意識の向上や業界理解を促進する。また、校外研修における実践的なビジネスマナーを学ぶ。	30	1		○		1		
		1	前期	○			就職支援 I A	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○		1		
		1	後期	○			就職支援 I B	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○		1		
		2	前期	○			就職支援 II A	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	60	2		○		2		
		2	後期	○			就職支援 II B	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	60	2		○		2		
3	前期	○			就職支援 III A	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	60	2		○		2				

			3	後期		○	就職支援ⅢB	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が 必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就 職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	60	2		○		2
--	--	--	---	----	--	---	--------	--	----	---	--	---	--	---

102

合計	50 科目	3195 単位時間	109 単位
----	-------	-----------	--------

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
ゲームクリエイター学科 進級要件： 1年次：31単位以上取得 2年次：62単位以上取得		1学年の学期区分	2 期
卒業要件： 93単位以上取得 必修科目を取得していること		1学期の授業期間	15 週

単位数	前期	後期	通年	計
1年	18	19	0	37
2年	23	21	0	44
3年	10	18	0	28
				109

コマ数	前期	後期	通年	計
1年	17	18	0	35
2年	22	21	0	43
3年	10	14	0	24
				102

## カリキュラム編成表(授業科目等の概要)

令和8年度 工業専門課程 (建築・デザイン学科)

科目区分①	科目区分②	年次	学期	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法		
				必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技
	建築計画の知識	1	前期	○			建築計画ⅠA	建築計画の基本となる住宅について学ぶ。また建築を設計するうえで基本となるスケール感覚を身につけ、人間が生活する空間を学ぶ。	60	4	○		
		1	後期	○			建築計画ⅠB	建築計画の基本となる住宅について学ぶ。また建築を設計するうえで基本となるスケール感覚を身につけ、人間が生活する空間を学ぶ。	30	2	○		
		2	後期	○			建築計画ⅡA	公共機関のうち教育施設(幼稚園、小中学校等)や外部空間、自然環境と建築の関係等を学ぶ	30	2	○		
	建築環境設備の知識	2	前期	○			建築環境工学ⅡA	建築環境工学の基礎的な知識として、熱、光、空気、音の分野について学習し、知識の習得を行う	30	2	○		
		2	前期	○			建築設備ⅡA	建築現場において使用される設備機器について基本的な内容を学ぶ	30	2	○		
	建築法規の知識	1	前期	○			建築法規ⅠA	建築物の設計、施工に必要な不可欠である建築基準法と関係法令について条文の主旨、内容の理解を図る	30	2	○		
		1	後期	○			建築法規ⅠB	建築物の設計、施工に必要な不可欠である建築基準法と関係法令について条文の主旨、内容の理解を図る	30	2	○		
		2	前期	○			建築法規ⅡA	建築物の設計、施工に必要な不可欠である建築基準法と関係法令について条文の主旨、内容の理解を図る	30	2	○		
	建築構造の知識	1	前期	○			建築構造力学ⅠA	「建築力学の基礎概念である力・力のモーメント」「力のつり合いなどの静力学の基礎」について学ぶ	30	2	○		
		1	後期	○			建築構造力学ⅠB	「建築力学の基礎概念である力・力のモーメント」「力のつり合いなどの静力学の基礎」について学ぶ	30	2	○		
		1	後期	○			建築一般構造ⅠA	建築構造は、建物の成り立ちであり、建築物の各部と全体が、どのような材料を用いて、どのように形造られているか学ぶ。	30	2	○		
		2	前期	○			建築一般構造ⅡA	建築構造は、建物の成り立ちであり、建築物の各部と全体が、どのような材料を用いて、どのように形造られているか学ぶ。	30	2	○		
		2	前期	○			建築材料ⅡA	建築材料のうち、構造材料である木材、コンクリート材料、金属材料(鋼材)の性質について学ぶ	30	2	○		
		2	後期	○			建築構造力学ⅡA	「静定構造物の応力の求め方」「トラス構造の解析方法」について学ぶ	30	2	○		
	建築施工の知識	1	前期	○			建築施工ⅠA	建築施工の位置づけと建築生産の基本理念を理解する。建築工事を構成する各工種について、その内容と全体の施工計画について概要を理解する	30	2	○		
		2	前期	○			建築施工ⅡA	建築施工の位置づけと建築生産の基本理念を理解する。建築工事を構成する各工種について、その内容と全体の施工計画について概要を理解する	30	2	○		
	建築設計製図の知識	1	前期	○			建築設計製図ⅠA	製図道具の使い方、線の書き方を習得し、木造建築の一般図の種類と表現方法・内容理解を目指す。	60	2		○	
		1	後期	○			建築設計製図ⅠB	配置図、平面図、断面図、立面図、矩計図の描き方を習得し、各自で条件にあったフリープランを作成する	60	2		○	
		1	後期	○			建築設計基礎ⅠA	建築の「考える・描く・つくる」ための基礎力を総合的に身につける	30	2	○		
		2	前期	○			建築設計製図ⅡA	配置図、平面図、断面図、立面図、矩計図の描き方を習得し、各自で条件にあったフリープランを作成する	60	2		○	
	プレゼンテーション力の習得	1	前期	○			Photoshop・illustratorⅠA	Photoshopとillustratorの基本操作を修得し、Photoshop、illustratorを使用して作品を製作する	30	1		○	
		1	後期	○			Photoshop・illustratorⅠB	Photoshopとillustratorの基本操作を修得し、Photoshop、illustratorを使用して作品を製作する	30	1		○	
	CADの知識習得	1	前期	○			JWCADⅠA	建築設計の基本的な考え方について学ぶ。JWCADの基本操作・各種設定・作図技術・印刷方法の習得	60	2		○	
		1	後期	○			JWCADⅠB	建築設計の基本的な考え方について学ぶ。JWCADの基本操作・各種設定・作図技術・印刷方法の習得	60	2		○	
建築士専攻科目	デッサン力の習得	1	前期	○			建築図学ⅠA	自分の意図した空間・形態を的確に表現する。手法を実際の建築物と参照しながら習得する。	30	1		○	
		1	後期	○			建築図学ⅠB	自分の意図した空間・形態を的確に表現する。手法を実際の建築物と参照しながら習得する。	30	1		○	
	卒業成果のプレゼンテーション	2	前期	○			専攻ゼミⅡA	計画、設計、作品作りをゼミ形式にて実施する。本校における学びの集大成としてその成果をまとめる。	60	2		○	
		2	後期	○			専攻ゼミⅡB(卒業研究)	計画、設計、作品作りをゼミ形式にて実施する。本校における学びの集大成としてその成果をまとめる。	60	2		○	
建築CAD専攻科目	3DCADの習得	1	前期	○			3DCADⅠA	建築設計や建築生産に必要な三次元図面の制作技術を通して、多角的な設計技術などを学ぶ	30	1		○	
		1	後期	○			BIMⅠA	BIMについての理解と関係ソフトの基礎的知識及び操作技術の向上を図る	30	1		○	
	卒業成果のプレゼンテーション	2	前期	○			BIMⅡA	BIM手法を駆使し、作品制作や競技設計へ挑戦することで技術の向上を図る	60	2		○	
		2	後期	○			BIMⅡB(卒業研究)	BIM手法を駆使し、作品制作や競技設計へ挑戦することで技術の向上を図る	60	2		○	

専門

空間情報専攻科目	1	前期	○	測量に関する法規・国際条約 I A	「測量法」「測量法施行令」「測量法施行規則」に関する知識、基本測量、公共測量、基本測量及び公共測量以外の測量について学ぶ	30	2	○							
	1	前期	○	測量に関する数学 I A	関数とグラフ、指数と対数、三角関数、ベクトル、微分法、積分法、行列について学ぶ	30	2	○							
	1	前期	○	測量学概論 I A	測量・地図発達の歴史、わが国の測量体系、測量の基準、楕円体測地学の基礎、地球の物理と測量及び最新の測量技術を学ぶ	30	2	○							
	1	前期	○	三角測量 I A	測定器械、選点、造標、埋標、水平角・鉛直角、距離の測定、平面直角座標計算、測量の成果について学ぶ	30	2	○							
	1	前期	○	水準測量 I A	水準測量の概要および作業計画・準備、測定機器、観測、誤差、計算と成果表等の整理、作業管理について学ぶ	30	2	○							
	1	前期	○	地形測量 I A	一般理論、細部図根点測量、細部測量、測量原因の調整、数値地形測量等について学ぶ	30	2	○							
	1	前期	○	地図編集 I A	地図の分類、地図投影法、地形図読図、基図、編集における取捨選択、総描、転位、GISの概念等について学ぶ	30	2	○							
	1	後期	○	測量に関する情報処理 I A	コンピュータシステム、ソフトウェア・ハードウェアの基礎、測量計算・地図情報処理などコンピュータによる解析作業を学ぶ	30	2	○							
	1	後期	○	多角測量 I A	測定器械(トータルステーション及び汎地球測位航法衛星システム(GNSS)を含む)、選点、造標、埋標、水平角・鉛直角・天文方位角の観測、距離の測定、平面直角座標計算、三角・多角網平均計算(観測方程式法を含む)、測量の成果表について学ぶ	30	2	○							
	1	後期	○	汎地球測位システム測量 I A	衛星測位システム(GNSS)の概念、GNSS測量の観測方式、観測法と解析方法について修得する。	30	2	○							
	1	後期	○	写真測量 I A	一般理論、航空カメラ、図化機、標定点測量、空中写真測量、リモートセンシング、数値図化等について学ぶ	30	2	○							
	1	後期	○	応用測量 I A	路線測量計画概論、中心線測量、曲線設置、現況測量、用地測量、縦横断測量、工事測量土量計算、河川測量計画概論、距離標の測量、河川縦横断測量、深淺測量、汀線測量、流速流量の測定等について学ぶ	30	2	○							
	1	後期	○	地理情報システム I A	インターネット活用手段、属性データ作成のエクセル利用、GISソフトの操作方法および利用する地図データについて投影法や座標系を理解させる。総合演習でGISソフトを使いこなす技術を修得する	30	2	○							
	1	前期	○	土木一般 I A	施工計画のための調査と環境アセスメント、設計と積算、施工と施工管理、品質管理、資材管理、労務管理など、土木施工に関する実践的技術を修得する。	30	2	○							
	1	前期	○	専門土木 I A	安全管理、工程管理、土工機械、掘削施工、運搬施工、盛土と締固め、基礎工、擁壁、トンネル、を内容とする講義により、土木施工に関する実践的技術を修得する。	30	2	○							
	1	前期	○	土木施工法規 I A	建設業に関する「労働基準法」「労働安全衛生法」「建設業法」を軸に、土木施工管理技士に関する土木法規を学ぶ	30	2	○							
	1	前期	○	共通工学 I A	契約・設計・電気・測量における基礎的な知識を学ぶ	30	2	○							
	1	前期	○	施工管理法 I A	工程管理」「安全管理」「品質管理」「原価管理」などの各種工事と材料、構造等を通して「施工管理」のポイントを学ぶ	30	2	○							
	2	前期	○	測量士試験対策 II A(法規・国際条約)	測量士試験に向けて法規・国際条約についての対策を行う	30	1		○						
	2	前期	○	測量士試験対策 II A(多角測量)	測量士試験に向けて多角測量についての対策を行う	30	1		○						
	2	前期	○	測量士試験対策 II A(GNSS測量)	測量士試験に向けてGNSS測量についての対策を行う	30	1		○						
	2	前期	○	測量士試験対策 II A(水準測量)	測量士試験に向けて水準測量についての対策を行う	30	1		○						
	2	前期	○	測量士試験対策 II A(地形測量)	測量士試験に向けて地形測量についての対策を行う	30	1		○						
	2	前期	○	測量士試験対策 II A(写真測量)	測量士試験に向けて写真測量についての対策を行う	30	1		○						
	2	前期	○	測量士試験対策 II A(地図編集)	測量士試験に向けて地図編集についての対策を行う	30	1		○						
	2	前期	○	測量士試験対策 II A(応用測量)	測量士試験に向けて応用測量についての対策を行う	30	1		○						
	2	前期	○	測量士試験対策 II A(地理情報システム)	測量士試験に向けて地理情報システムについての対策を行う	30	1		○						
	2	後期	○	測量士試験対策 II A(総合)	測量士試験に向けて総合的な対策を行う	60	2		○						
	2	後期	○	測量士試験対策 II B(総合)	測量士試験に向けて総合的な対策を行う	60	2		○						
	2	前期	○	卒業制作 II A	作品制作に挑戦することで技術の向上を図る	60	2		○						
	2	後期	○	卒業制作 II B	作品制作に挑戦することで技術の向上を図る	60	2		○						
	1	前期	○	AutoCAD I A	AutoCADの基本操作・各種設定・作図技術・印刷方法の習得	60	2		○						
	1	後期	○	AutoCAD I B	AutoCADの基本操作・各種設定・作図技術・印刷方法の習得	60	2		○						
	1	後期	○	土木施工対策 I A(土木工学等)	土木施工管理技士試験に向けて土木工学等の対策を行う	30	1		○						
	1	後期	○	土木施工対策 I A(施工管理法)	測量士試験に向けて施工管理法についての対策を行う	30	1		○						
	1	後期	○	土木施工対策 I A(法規)	測量士試験に向けて土木法規についての対策を行う	30	1		○						
	1	前期	○	測量士 I A	測量士補試験を学習する	60	2		○						
	1	後期	○	測量士 I B	測量士補試験を学習する	60	2		○						
	2	前期	○	測量士 II A	測量士試験を学習する	60	2		○						
	2	後期	○	測量士 II B	測量士試験を学習する	60	2		○						
					測定の知識	1	前期	○	測量士 I A	測量士補試験対策のための学習する	60	2		○	
					測定の知識	1	後期	○	測量士 I B	測量士補試験対策のための学習する	60	2		○	
				実務研修による現場能力の習得	1	後期	○	インターンシップ I A	机上で学んだことを現場で実践する	45	1			○	

一般	1	前期		○ 表現力 I A	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	30	1		○
	1	前期		○ 就職支援 I A	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1		○
	1	後期		○ 就職支援 I B	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1		○
	2	前期		○ 就職支援 II A	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1		○
	2	後期		○ 就職支援 II B	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1		○
	1	前期		○ 総合演習 I A	校外研修や校内での企業連携授業などの学科活動を実施し、今後の就職への意識の向上や業界理解を促進する。また、校外研修における実践的なビジネスマナーを学ぶ。	30	1		○
	1	後期		○ 総合演習 I B	校外研修や校内での企業連携授業などの学科活動を実施し、今後の就職への意識の向上や業界理解を促進する。また、校外研修における実践的なビジネスマナーを学ぶ。	30	1		○
	2	前期		○ 総合演習 II A	校外研修や校内での企業連携授業などの学科活動を実施し、今後の就職への意識の向上や業界理解を促進する。また、校外研修における実践的なビジネスマナーを学ぶ。	30	1		○
	2	後期		○ 総合演習 II B	校外研修や校内での企業連携授業などの学科活動を実施し、今後の就職への意識の向上や業界理解を促進する。また、校外研修における実践的なビジネスマナーを学ぶ。	30	1		○
	合計					84 科目	3195 単位時間		142 単位)

卒業要件及び履修方法	授業期間等			
	卒業要件：62単位取得 必修科目を取得していること	1学年の学期区分	2	期
	選択必修科目： 【建築士専攻】【建築CAD専攻】「3DCAD I A」「BIM I B」「BIM II A」「BIM II B」「建築図学 I A」「建築図学 I B」「専攻ゼミ II A」「専攻ゼミ II B」「建築計画 I A」「建築計画 I B」「建築計画 II A」「建築環境工学 II A」「建築設備 II A」「建築法規 I A」「建築法規 I B」「建築法規 II A」「建築構造力学 I A」「建築構造力学 I B」「建築一般構造 I A」「建築一般構造 II A」「建築材料 II A」「建築構造力学 II A」「建築施工 I A」「建築施工 II A」「建築設計製図 I A」「建築設計製図 I B」「建築設計基礎 I A」「建築設計製図 II A」 【空間情報専攻】 「測量に関する法規・国際条約 I A」「測量に関する数学 I A」「測量学概論 I A」「三角測量 I A」「水準測量 I A」「地形測量 I A」「地図編集 I A」「測量に関する情報処理 I A」「写真測量 I A」「応用測量 I A」「地理情報システム I A」「土木一般 I A」「専門土木 I A」「土木施工法規 I A」「共通工学 I A」「施工管理法 I A」「測量士試験対策 II A (法規・国際条約)」「測量士試験対策 II A (多角測量)」「測量士試験対策 II A (GNSS測量)」「測量士試験対策 II A (水準測量)」「測量士試験対策 II A (地形測量)」「測量士試験対策 II A (写真測量)」「測量士試験対策 II A (地図編集)」「測量士試験対策 II A (応用測量)」「測量士試験対策 II A (地理情報システム)」「測量士試験対策 II A (総合)」「測量士試験対策 II B (総合)」「土木施工対策 I A (土木工学等)」「土木施工対策 I A (施工管理法)」「土木施工対策 I A (法規)」	1学期の授業期間	15	週

カリキュラム編成表（授業科目等の概要）

令和8年度 高専専門課程（先端技術研究科）

専門・一般	分野	年次	学期	科目区分	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法		
					必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習
専門		1	前期	専門			○	実習研究IA	自身の研究テーマについて深く勉強する	180	6		○	
		1	後期	専門			○	実習研究IB	自身の研究テーマについて深く勉強する	180	6		○	
		1	前期	専門	○			研究ゼミIA	研究の成果を発表し、フィードバックをもらえます。	60	2		○	
		1	後期	専門	○			研究ゼミIB	研究の成果を発表し、フィードバックをもらえます。	60	2		○	
		1	前期	専門			○	作品制作IA	研究テーマに沿って、作品を制作します。	120	4		○	
		1	前期	専門			○	作品制作IB	研究テーマに沿って、作品を制作します。	120	4		○	
		1	前期	専門			○	インターンシップIA	長期インターンシップに参加し、技術を身に付きます。	450	10		○	
		1	後期	専門			○	インターンシップIB	長期インターンシップに参加し、技術を身に付きます。	450	10		○	
		1	後期	専門	○			卒業制作IA	作品制作を行います。 研究の成果をもって、学会などに参加します。	150	5		○	
		1	後期	専門	○			卒業制作IB	作品制作を行います。 研究の成果をもって、学会などに参加します。	150	5		○	
一般			前期	一般			○	技術の英語IA	研究テーマに関連している英語を身につけます。	30	1		○	
			後期	一般			○	技術の英語IB	研究テーマに関連している英語を身につけます。	30	1		○	
合計								12科目	1980単位時間	(56単位)				

卒業要件及び履修方法	授業期間等		
卒業要件：31単位以上取得 必修科目を取得していること	1学年の学期区分	2	期
	1学期の授業期間	15	週

令和8年度 工業専門課程 (建築士研究科)													
科目区分①	科目区分②	年次	学期	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時間	単位数	授業方法		
				必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技
専門	二級建築士専攻	一次試験対策	1	前期	○		建築計画ⅢA(2級)	二級建築士の学科試験Ⅰ(計画)対策	60	2		○	
			1	前期	○		建築法規ⅢA(2級)	二級建築士の学科試験Ⅱ(法規)対策	60	2		○	
			1	前期	○		建築構造ⅢA(2級)	二級建築士の学科試験Ⅲ(構造)対策	60	2		○	
			1	前期	○		建築施工ⅢA(2級)	二級建築士の学科試験Ⅳ(施工)対策	60	2		○	
			1	後期	○		建築設計製図ⅢA(2級)	二級建築士の設計製図試験対策	300	10		○	
	一級建築士専攻	一次試験対策	1	前期	○		建築計画ⅢA(1級)	一級建築士の学科試験Ⅰ(計画)対策	30	1		○	
			1	前期	○		建築環境設備ⅢA(1級)	一級建築士の学科試験Ⅱ(環境設備)対策	30	1		○	
			1	前期	○		建築法規ⅢA(1級)	一級建築士の学科試験Ⅲ(法規)対策	90	3		○	
			1	前期	○		建築構造ⅢA(1級)	一級建築士の学科試験Ⅳ(構造)対策	90	3		○	
			1	前期	○		建築施工ⅢA(1級)	一級建築士の学科試験Ⅴ(施工)対策	60	2		○	
		二次試験対策	1	後期	○		建築設計製図ⅢA(1級)	一級建築士の設計製図試験対策	300	10		○	
	共通	1	後期	○		卒業制作Ⅲ	卒業制作に必要な準備とスキルを身につけ、自身が制作した作品の紹介	60	2			○	
一般		1	前期		○	有償インターンシップⅢA	机上で学んだことを現場で実践する	450	10			○	
		1	後期		○	有償インターンシップⅢB	机上で学んだことを現場で実践する	450	10			○	
合計								14 科目	2100 単位時間	60 単位			
卒業要件及び履修方法								授業期間等					
卒業要件:31単位以上 必修科目及び選択必修科目を取得していること 一級建築士専攻 42単位 二級建築士専攻 42単位								1学年の学期区分		2	期		
								1学期の授業期間		15	週		

## カリキュラム編成表（授業科目等の概要）

令和8年 歯科衛生士学科														
専門・一般	分野	年次	学期	科目区分	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法		
					必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技
科学的思考の基盤 人間と生活		1	前期	専門	○			心理学ⅠA	良好な対人関係を構築するために、人の行動と心理に関する基本的知識と考え方を習得し、技術、態度を身につける。	30	2	○		
		1	後期	専門	○			心理学ⅠB	良好な対人関係を構築するために、人の行動と心理に関する基本的知識と考え方を習得し、技術、態度を身につける。	30	2	○		
		1	前期	専門	○			ビジネスIT技術ⅠA	各職種において文書を作成するスキルは、必須である。本科目では、一般的ワープロソフトである「WORD」を使用し、様々な文書を速く正確に作成するスキルを学ぶ。	30	1		○	
		1	後期	専門	○			ビジネスIT技術ⅠB	各職種において文書を作成するスキルは、必須である。本科目では、一般的ワープロソフトである「WORD」を使用し、様々な文書を速く正確に作成するスキルを学ぶ。	30	1		○	
		2	前期	専門	○			ICT演習ⅡA	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・データベースの技術を身につける。	30	1		○	
		2	後期	専門	○			ICT演習ⅡB	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・データベースの技術を身につける。	30	1		○	
		2	前期	専門	○			ICT活用ⅡA	パワーポイントの使い方から文章のまとめ方や訴える力など、プレゼンテーションに必要な基本的知識を身に付ける。またVRを使用した次世代型プレゼンテーション方法についても学ぶ。	30	1		○	
		1	前期	専門	○			ビジネスマナーⅠA	社会人として必要なビジネスマナーや心構えのより高度な考え方を学ぶ	30	1		○	
		1	後期	専門	○			ビジネスマナーⅠB	社会人として必要なビジネスマナーや心構えのより高度な考え方を学ぶ	30	1		○	
		人体（歯・口腔を除く）の構造と機能、歯・口腔の構造と機能、疾病の成り立ち及び回復過程の促進		1	前期	専門	○			人体解剖・組織・発生ⅠA	人体の成り立ちを理解するために、体の機能に関する基本的知識を修得し、技術、態度を身につける。また、疾病の成り立ち及び回復過程の促進についての理解を深める。	60	4	○
1	後期			専門	○			口腔構造・機能論ⅠA	顔面、口腔およびその周囲組織の成り立ちを理解するために、口腔とその周囲組織の機能に関する基本的知識を修得し、技術、態度を身につける。	30	2	○		
1	前期			専門	○			口腔解剖・組織・発生ⅠA	顔面、口腔およびその周囲組織の成り立ちを理解するために、口腔とその周囲組織の構造に関する基本的知識を修得し、技術、態度を身につける。	60	4	○		
1	後期			専門	○			口腔生理学・臨床検査ⅠA	顔面、口腔およびその周囲組織の成り立ちを理解するために、口腔とその周囲組織の構造に関する基本的知識を修得し、技術、態度を身につける。	30	2	○		
1	前期			専門	○			病理学・口腔病理学ⅠA	口腔領域に発生する疾病の発生機序および病理学的特徴を理解するために、疾病の概念、病因と病態に関する基本的知識を修得し、技術、態度を身につける。	60	4	○		
1	後期			専門	○			薬理学ⅠA	歯科領域の薬物の性質、薬理作用、作用機序および副作用を理解するために、歯科疾病の回復を促進する薬に関する基本的知識を修得し、技術、態度を身につける。	30	2	○		
1	前期			専門	○			微生物学ⅠA	口腔の常在微生物とそれらが原因となる疾患を理解するために、微生物の基本的性状、病原性と感染によって生じる病態と生体の防御機構としての免疫に関する基本的知識を修得し、技術、態度を身につける。	30	2	○		
1	後期			専門	○			生化学ⅠA	生体を構成する物質の化学的性質や代謝・エネルギー産生の仕組みを理解し口腔や全身の健康における基礎的知識を身につける	30	2	○		
1	後期			専門	○			栄養学ⅠA	ヒトの栄養素とその働きを理解し各ライフステージや健康状態に応じた栄養管理の基本を学ぶ。口腔の健康と食生活の関連を理解し歯科衛生士として適切な栄養指導を行う基礎を養う	30	2	○		
歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み				1	前期	専門	○			口腔衛生学ⅠA	歯・口腔の健康に関わる社会の仕組みを理解し、歯科疾患の予防能力を高める態度を養うために、歯・口腔の健康と予防に関する基本的知識を修得し、技術、態度を身につける。	30	2	○
		2	後期	専門	○			口腔衛生学ⅡA	歯・口腔の健康に関わる社会の仕組みを理解し、歯科疾患の予防能力を高める態度を養うために、歯・口腔の健康と予防に関する基本的知識を修得し、技術、態度を身につける。	30	2	○		
		1	後期	専門	○			公衆衛生学ⅠA	生活と健康に関わる社会の仕組みを理解し、歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組みについて学ぶ	30	2	○		
		1	後期	専門	○			衛生統計学・地域保健統計学ⅠA	歯・口腔の健康に関わる社会の仕組みを理解し、歯科疾患の予防能力を高める態度を養うために、歯・口腔の健康と予防に関する基本的知識を修得し、技術、態度を身につける。	30	2	○		
		2	前期	専門	○			衛生行政・社会福祉ⅡA	日本の保健・医療・福祉制度と医事法制を理解し、歯科衛生のあり方を考える態度を養うために、歯科衛生士に必要な法律・制度に関する基本的知識を習得する。	30	2	○		
歯科衛生概論		1	前期	専門	○			歯科衛生概論ⅠA	歯科衛生を実践して人びとの健康づくりを支援するために、保健医療人としての基本的態度を理解し、歯科衛生業務・歯科衛生過程・多職種連携・医療安全対策の実践のために、多様な科目において、知識・技術を習得する態度、論理的思考法の基礎を習得する。	30	2	○		
		1	後期	専門	○			歯科医療倫理学ⅠA	歯科医療における倫理的課題や歯科衛生士としての専門的倫理を理解することを目的とし、患者の人権尊重・医療安全・チーム医療における責任と役割を学び専門職としての判断と行動の基礎を養う	30	2	○		
臨床歯科医学		2	前期	専門	○			保存修復学ⅡA	歯科臨床各科の保存の基本的な流れを中心に治療対象・治療目的・治療における歯科衛生士の役割について歯科臨床の概要に関する知識を修得し、技術、態度を身につける	30	2	○		
		2	前期	専門	○			歯内療法ⅡA	歯科臨床各科の歯内療法の基本的な流れを中心に治療対象・治療目的・治療における歯科衛生士の役割について歯科臨床の概要に関する知識を修得し、技術、態度を身につける	30	2	○		
		2	前期	専門	○			歯周治療学ⅡA	歯科臨床各科の歯周疾患の基本的な流れを中心に治療対象・治療目的・治療における歯科衛生士の役割について歯科臨床の概要に関する知識を修得し、技術、態度を身につける	30	2	○		
		2	前期	専門	○			歯科補綴学ⅡA	歯科臨床各科の補綴の基本的な流れを中心に治療対象・治療目的・治療における歯科衛生士の役割について歯科臨床の概要に関する知識を修得し、技術、態度を身につける	30	2	○		
		2	前期	専門	○			矯正歯科学ⅡA	歯科臨床各科の矯正歯科の基本的な流れを中心に治療対象・治療目的・治療における歯科衛生士の役割について歯科臨床の概要に関する知識を修得し、技術、態度を身につける	30	2	○		
		2	前期	専門	○			口腔外科学・歯科放射線学ⅡA	歯科臨床各科の保存・補綴・矯正歯科・小児歯科・口腔外科・高齢者歯科・障害者歯科の基本的な流れを中心に治療対象・治療目的・治療における歯科衛生士の役割について歯科臨床の概要に関する知識を修得し、技術、態度を身につける	30	2	○		
		2	前期	専門	○			小児歯科学ⅡA	歯科臨床各科の小児歯科の基本的な流れを中心に治療対象・治療目的・治療における歯科衛生士の役割について歯科臨床の概要に関する知識を修得し、技術、態度を身につける	30	2	○		
		2	前期	専門	○			高齢者・障害者歯科学ⅡA	歯科臨床各科の高齢者歯科・障害者歯科の基本的な流れを中心に治療対象・治療目的・治療における歯科衛生士の役割について歯科臨床の概要に関する知識を修得し、技術、態度を身につける	30	2	○		
		1	前期	専門	○			歯科予防処置論ⅠA	歯・口の疾患を予防して健康状態を維持・増進させるために必要な専門的理論に関する知識を修得し、技術、態度を身につける。	30	2	○		
		1	後期	専門	○			歯科予防処置論ⅠB	歯・口の疾患を予防して健康状態を維持・増進させるために必要な専門的理論に関する知識を修得し、技術、態度を身につける。	30	2	○		
		1	前期	専門	○			歯科予防処置演習ⅠA	歯・口の疾患を予防して健康状態を維持・増進させるために必要な専門的理論に関する知識を修得し、技術、態度を身につける。	60	2		○	

歯科予防処置論	1	後期	専門	○		歯科予防処置演習ⅠB	歯・口の疾患を予防して健康状態を維持・増進させるために必要な専門的理論に関する知識を修得し、技術、態度を身につける。	60	2		○
	2	前期	専門	○		歯科予防処置演習ⅡA	歯・口の疾患を予防して健康状態を維持・増進させるために必要な専門的理論に関する知識を修得し、技術、態度を身につける。	60	2		○
	2	後期	専門	○		歯科予防処置演習ⅡB	歯・口の疾患を予防して健康状態を維持・増進させるために必要な専門的理論に関する知識を修得し、技術、態度を身につける。	60	2		○
	3	前期	専門	○		歯科予防処置演習ⅢA	歯・口の疾患を予防して健康状態を維持・増進させるために必要な専門的理論に関する知識を修得し、技術、態度を身につける。	60	2		○
歯科保健指導論	1	前期	専門	○		歯科保健指導論ⅠA	個人・集団を対象として生活習慣や態度を望ましい歯科保健行動にするために必要なプロフェッショナルルケア（専門家の行う世話）・セルフケア（自分でする世話）・コミュニティケア（地域で行う世話）の基本となる知識を修得し、技術、態度を身につける。□	30	2	○	
	1	後期	専門	○		歯科保健指導論ⅠB	個人・集団を対象として生活習慣や態度を望ましい歯科保健行動にするために必要なプロフェッショナルルケア（専門家の行う世話）・セルフケア（自分でする世話）・コミュニティケア（地域で行う世話）の基本となる知識を修得し、技術、態度を身につける。□	30	2	○	
	1	前期	専門	○		歯科保健指導演習ⅠA	個人・集団を対象として生活習慣や態度を望ましい歯科保健行動にするために必要なプロフェッショナルルケア（専門家の行う世話）・セルフケア（自分でする世話）・コミュニティケア（地域で行う世話）の基本となる知識を修得し、技術、態度を身につける。□	60	2		○
	1	後期	専門	○		歯科保健指導演習ⅠB	個人・集団を対象として生活習慣や態度を望ましい歯科保健行動にするために必要なプロフェッショナルルケア（専門家の行う世話）・セルフケア（自分でする世話）・コミュニティケア（地域で行う世話）の基本となる知識を修得し、技術、態度を身につける。□	60	2		○
	2	前期	専門	○		歯科保健指導演習ⅡA	個人・集団を対象として生活習慣や態度を望ましい歯科保健行動にするために必要なプロフェッショナルルケア（専門家の行う世話）・セルフケア（自分でする世話）・コミュニティケア（地域で行う世話）の基本となる知識を修得し、技術、態度を身につける。□	60	2		○
	2	後期	専門	○		歯科保健指導演習ⅡB	個人・集団を対象として生活習慣や態度を望ましい歯科保健行動にするために必要なプロフェッショナルルケア（専門家の行う世話）・セルフケア（自分でする世話）・コミュニティケア（地域で行う世話）の基本となる知識を修得し、技術、態度を身につける。□	60	2		○
	3	前期	専門	○		歯科保健指導演習ⅢA	個人・集団を対象として生活習慣や態度を望ましい歯科保健行動にするために必要なプロフェッショナルルケア（専門家の行う世話）・セルフケア（自分でする世話）・コミュニティケア（地域で行う世話）の基本となる知識を修得し、技術、態度を身につける。□	60	2		○
歯科診療補助論	1	前期	専門	○		歯科診療補助論ⅠA	個人・集団を対象として生活習慣や態度を望ましい歯科保健行動にするために必要なプロフェッショナルルケア（専門家の行う世話）・セルフケア（自分でする世話）・コミュニティケア（地域で行う世話）の基本となる知識を修得し、技術、態度を身につける。□	30	2	○	
	1	後期	専門	○		歯科診療補助論ⅠB	個人・集団を対象として生活習慣や態度を望ましい歯科保健行動にするために必要なプロフェッショナルルケア（専門家の行う世話）・セルフケア（自分でする世話）・コミュニティケア（地域で行う世話）の基本となる知識を修得し、技術、態度を身につける。□	30	2	○	
	1	後期	専門	○		歯科材料・歯科機器ⅠA	個人・集団を対象として生活習慣や態度を望ましい歯科保健行動にするために必要なプロフェッショナルルケア（専門家の行う世話）・セルフケア（自分でする世話）・コミュニティケア（地域で行う世話）の基本となる知識を修得し、技術、態度を身につける。□	30	2	○	
	1	前期	専門	○		歯科診療補助演習ⅠA	個人・集団を対象として生活習慣や態度を望ましい歯科保健行動にするために必要なプロフェッショナルルケア（専門家の行う世話）・セルフケア（自分でする世話）・コミュニティケア（地域で行う世話）の基本となる知識を修得し、技術、態度を身につける。□	60	2		○
	1	後期	専門	○		歯科診療補助演習ⅠB	個人・集団を対象として生活習慣や態度を望ましい歯科保健行動にするために必要なプロフェッショナルルケア（専門家の行う世話）・セルフケア（自分でする世話）・コミュニティケア（地域で行う世話）の基本となる知識を修得し、技術、態度を身につける。□	60	2		○
	2	前期	専門	○		歯科診療補助論ⅡA	個人・集団を対象として生活習慣や態度を望ましい歯科保健行動にするために必要なプロフェッショナルルケア（専門家の行う世話）・セルフケア（自分でする世話）・コミュニティケア（地域で行う世話）の基本となる知識を修得し、技術、態度を身につける。□	30	2	○	
	2	前期	専門	○		歯科診療補助演習ⅡA	個人・集団を対象として生活習慣や態度を望ましい歯科保健行動にするために必要なプロフェッショナルルケア（専門家の行う世話）・セルフケア（自分でする世話）・コミュニティケア（地域で行う世話）の基本となる知識を修得し、技術、態度を身につける。□	60	2		○
	2	後期	専門	○		歯科診療補助演習ⅡB	個人・集団を対象として生活習慣や態度を望ましい歯科保健行動にするために必要なプロフェッショナルルケア（専門家の行う世話）・セルフケア（自分でする世話）・コミュニティケア（地域で行う世話）の基本となる知識を修得し、技術、態度を身につける。□	60	2		○
	3	前期	専門	○		歯科診療補助演習ⅢA	個人・集団を対象として生活習慣や態度を望ましい歯科保健行動にするために必要なプロフェッショナルルケア（専門家の行う世話）・セルフケア（自分でする世話）・コミュニティケア（地域で行う世話）の基本となる知識を修得し、技術、態度を身につける。□	60	2		○
	臨地実習	1	後期	専門	○		臨地実習ⅠA	歯科医院・病院など歯科臨床の場、保健センター・高齢者施設・保育園など地域保健の場を通して、歯科衛生士として業務を行うために必要な知識を習得し、技術及び態度を身につける。	45	1	
2		前期	専門	○		臨地実習ⅡA	歯科医院・病院など歯科臨床の場、保健センター・高齢者施設・保育園など地域保健の場を通して、歯科衛生士として業務を行うために必要な知識を習得し、技術及び態度を身につける。	225	5		○
2		後期	専門	○		臨地実習ⅡB	歯科医院・病院など歯科臨床の場、保健センター・高齢者施設・保育園など地域保健の場を通して、歯科衛生士として業務を行うために必要な知識を習得し、技術及び態度を身につける。	135	3		○
3		前期	専門	○		臨地実習ⅢA	歯科医院・病院など歯科臨床の場、保健センター・高齢者施設・保育園など地域保健の場を通して、歯科衛生士として業務を行うために必要な知識を習得し、技術及び態度を身につける。	360	8		○
3		後期	専門	○		臨地実習ⅢB	歯科医院・病院など歯科臨床の場、保健センター・高齢者施設・保育園など地域保健の場を通して、歯科衛生士として業務を行うために必要な知識を習得し、技術及び態度を身につける。	135	3		○
2		後期	専門	○		総合実習ⅡA	総合演習では、先進的な歯科関連企業の見学を通じて最新の技術や機材を見学できる。学生の将来像を描く機会となり、視野が広がる	45	1		○
国家試験対策		2	後期	専門	○		国家試験対策演習ⅡA	歯科衛生士国家試験合格に向けて過去問題、および模試等を通して国家試験対策を行う。	30	1	
	3	前期	専門	○		国家試験対策演習ⅢA	歯科衛生士国家試験合格に向けて過去問題、および模試等を通して国家試験対策を行う。	150	5		○
	3	後期	専門	○		国家試験対策演習ⅢB	歯科衛生士国家試験合格に向けて過去問題、および模試等を通して国家試験対策を行う。	150	5		○
一般	1	前期	一般	○		表現力ⅠA	コミュニケーション授業を学び、自己表現力や社会性を身につける	30	1		○
	1	前期	一般	○		就職支援ⅠA	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1		○
	1	後期	一般	○		就職支援ⅠB	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1		○
	2	前期	一般	○		就職支援ⅡA	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1		○
	2	後期	一般	○		就職支援ⅡB	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1		○
	3	前期	一般	○		就職支援ⅢA	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1		○
	3	後期	一般	○		就職支援ⅢB	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1		○
	2	後期	専門	○		介護の基本ⅡA	介護職員初任者研修の修了を目指し、高齢者・障がい者への介護の基本的知識と技術を学び、歯科衛生士として専門的口腔衛生を含む介護実践の基礎を身につける	120	4		○
	1	前期	専門	○		総合演習ⅠA	総合演習では、先進的な歯科関連企業の見学を通じて最新の技術や機材を見学できる。学生の将来像を描く機会となり、視野が広がる	30	1		○
	1	後期	専門	○		総合演習ⅠB	総合演習では、先進的な歯科関連企業の見学を通じて最新の技術や機材を見学できる。学生の将来像を描く機会となり、視野が広がる	30	1		○

					合計	75 科目	3885 単位時間	( 156 単位)
--	--	--	--	--	----	-------	-----------	-----------

卒業要件及び履修方法	授業期間等		
卒業要件：93単位以上取得 必修科目を取得していること 別表（自由選択一覧）より必要単位を修得する	1 学年の学期区分	2	期
	1 学期の授業期間	15	週

カリキュラム編成表（授業科目等の概要）

令和8年度 商業実務専門課程（Webクリエイター学科）														
専門・一般	分野	年次	学期	科目区分	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法		
					必修	選択	自由選択					講義	演習	実験・実習
専門	IT活用	1	前期	専門	○			ITメディア概論ⅠA	IT技術・IT管理・ネットワーク・データ分析・セキュリティ・IT最新技術といった実務に必要な知識を学ぶ。	30	2	○		
		1	後期	専門	○			ITメディア概論ⅠB	IT技術・IT管理・ネットワーク・データ分析・セキュリティ・IT最新技術といった実務に必要な知識を学ぶ。	30	2	○		
		1	前期	専門	○			生成AIとビジュアル表現ⅠA	生成AIを活用した多様なビジュアル表現を探索し、プロンプト設計や画像生成実習に加え、著作権や権利の理解も深める。	30	1		○	
		1	後期	専門	○			生成AIとビジュアル表現ⅠB	生成AIを活用した多様なビジュアル表現を探索し、プロンプト設計や画像生成実習に加え、著作権や権利の理解も深める。	30	1		○	
表現知識		1	前期	専門	○			カラーコーディネートⅠA	色彩理論の基本を学び、デザインに必要な色彩の考え方や発想を身につける。	60	2		○	
		1	後期	専門	○			カラーコーディネートⅠB	色彩理論の基本を学び、デザインに必要な色彩の考え方や発想を身につける。	60	2		○	
		1	前期	専門	○			デザイン概論ⅠA	ビジュアルコミュニケーションに必要とされるデザインの基礎を学ぶ。それを元にWEBデザイン・コンテンツデザイン・グラフィックデザイン・映像デザインのクオリティ向上につなげる。	30	2	○		
コンテンツ制作		1	前期	専門	○			コンテンツデザインⅠA	デザイン専用ソフトウェアの操作方法を学び、仕事で扱う様々な画像や印刷物の作成をおこなう。	60	2			○
		1	後期	専門	○			コンテンツデザインⅠB	デザイン専用ソフトウェアの操作方法を学び、仕事で扱う様々な画像や印刷物の作成をおこなう。	60	2			○
		1	前期	専門	○			Web演習ⅠA	HTML、CSSに関する基本的な知識を学び、様々なモバイルに対応するWeb作成スキルを身につける	60	2			○
		1	後期	専門	○			Web演習ⅠB	HTML、CSSに関する基本的な知識を学び、様々なモバイルに対応するWeb作成スキルを身につける	60	2			○
		2	前期	専門	○			Web演習ⅡA	各種ビジネスを想定したWebサイト、モバイルサイト作成を行う。	60	2			○
		2	後期	専門	○			Web演習ⅡB	卒業制作活動のため、自分が受注した案件であるビジネスコンテンツとしてのモバイルサイト作成をおこなう。	60	2			○
		1	後期	専門	○			IPデザイン実践ⅠA	タイポグラフィやレイアウトの基礎を、実践を通して身につける。	30	1			○
		2	前期	専門	○			IPデザイン実践ⅡA	目的に合わせたデザイン表現を学び、クライアントワークを想定した様々なデザイン制作をおこなう。	60	2			○
		2	後期	専門	○			IPデザイン実践ⅡB	デザイン技術の実践と、学びを可視化しそれを伝えるための卒業成果作品を制作する。	60	2			○
		1	前期	専門	○			ムービー制作ⅠA	様々な機器による撮影と編集技術を学ぶ。	60	2			○
		1	後期	専門	○			ムービー制作ⅠB	撮影と編集技術の実践活動として、コンテスト応募と学年課題制作をおこなう。	60	2			○
		2	前期	専門	○			ネットムービー演習ⅡA	目的に沿った表現方法を学び、テーマに沿った作品制作を行う。	60	2			○
		2	後期	専門	○			ネットムービー演習ⅡB	撮影と編集技術の実践活動として、学年課題制作をおこなう。	60	2			○
		1	後期	専門	○			UX/UIデザインⅠA	WebデザインにおけるUX/UIの考え方と表現手法を学ぶ。	30	1			○
		2	前期	専門	○			UX/UIデザインⅡA	UX/UIデザインの実践をおこない、ユーザーの満足度を高めるWebサイトの制作力を身に付ける。	30	1			○
		イラスト制作		2	前期	専門	○			ECビジネス演習ⅡA	ECサイトの仕組みと効果的な設計を学び、マーケティングや販売戦略を実践的に習得する。関係法務も理解し、安心して運営できる力を養う。	30	1	
2	後期			専門	○			ECビジネス演習ⅡB	ECサイトの仕組みと効果的な設計を学び、マーケティングや販売戦略を実践的に習得する。関係法務も理解し、安心して運営できる力を養う。	30	1			○
1	前期			専門	○			描画基礎ⅠA	デッサンを中心に観察力と形の捉え方を学び、基礎的な描画力を養う。	60	2			○
1	後期			専門	○			描画基礎ⅠB	ジェスチャードローイングを通じて動きや表情の瞬発的表現を習得し、表現力を広げる。	60	2			○
制作実践		1	前期	専門	○			キャラクターデザインⅠA	人物や生物の描き方を学び、年齢・性別・性格を描き分ける表現力を養う。	60	2			○
		1	後期	専門	○			キャラクターデザインⅠA	テーマに沿ったオリジナルキャラクターを考案し、設定や三面図を制作してデザインを完成させる。	60	2			○
		2	前期	専門	○			コミック表現ⅡA	ストーリーの作り方と展開方法を学び、実際にPR漫画を制作して企画力と表現力を鍛える。	60	2			○
		1	前期	専門	○			デジタルイラストⅠA	デジタル作画の基礎を学び、描画スキルを身につける。	60	2			○
		1	後期	専門	○			デジタルイラストⅠB	複数アプリの連携や素材の活用など応用テクニックを習得し、制作の幅を広げる。	60	2			○
		2	前期	専門	○			モーションデザインⅡA	Live2Dを用いてキャラクターに動きを与え、イラストを動的に表現する技術を学ぶ。	30	1			○
		1	前期	専門	○			ポートフォリオ制作ⅠA	ポートフォリオの基礎を学び、作品整理や自己紹介素材の準備を行う。	30	1			○
		1	後期	専門	○			ポートフォリオ制作ⅠB	作品制作を通じてポートフォリオを実践的に構成し、表現力を高める。	30	1			○
2	前期	専門	○			ポートフォリオ制作ⅡA	就職活動や個人活動で使用する、完成度の高い作品集を仕上げ自己PR力を磨く。	30	1			○		

企画実践	1	前期	専門	○	SNSプランニングⅠA	地域の課題解決やイメージ向上をテーマとし、専門分野知識やスキルを活かした実践活動を行う。活動を通してチーム活動のやり方やスケジュール管理、報告手法などビジネスの基本を身につける。	60	2		○
	1	後期	専門	○	SNSプランニングⅠB	地域の課題解決やイメージ向上をテーマとし、専門分野知識やスキルを活かした実践活動を行う。活動を通してチーム活動のやり方やスケジュール管理、報告手法などビジネスの基本を身につける。	60	2		○
	2	前期	専門	○	Web卒業制作ⅡA	企業活動に要求される顧客やビジネスパートナーとの関係やその利益を生み出す仕組みについて、具体的に検討する。コンテンツ制作手法と表現方法、活用事例を学び、実践する。	60	2		○
	2	後期	専門	○	Web卒業制作ⅡB	ブランディングとコミュニケーションデザインについて理解を深め、企業活動に貢献するコンテンツ制作とプレゼンテーションを学び実践する。	60	2		○
	1	前期	専門	○	チームクリエイションⅠA	グループワークを通して意見交換や役割分担を行い、協働力和コミュニケーション力を育成する。	30	1		○
	1	後期	専門	○	チームクリエイションⅠB	チームで企画を立案・制作し、発表まで行うことで実践的な表現力とプレゼン力を養う。	30	1		○
	2	前期	専門	○	プロジェクト実践ⅡA	地域の課題解決やイメージ向上をテーマとし、専門分野知識やスキルを活かした実践活動を行う。活動を通してチーム活動のやり方やスケジュール管理、報告手法などビジネスの基本を身につける。	60	2		○
	2	前期	専門	○	イラスト卒業制作ⅡA	自身のテーマを設定し、イラストを軸に企画を構想。企業プロモーションや独立時のブランディングを設計する。	60	2		○
	2	後期	専門	○	イラスト卒業制作ⅡB	ブランディングとコミュニケーションデザインについて理解を深め、企業活動やブランディングに貢献するコンテンツ制作とプレゼンテーションを学び実践する。	60	2		○
	キャリア支援	1	後期	専門	○	セルフブランディング基礎ⅠA	作家活動に必要なWeb・SNSリテラシーを学ぶ。著作権や炎上リスクを理解し安全かつ効果的な発信スキルを身に付け、就職活動にも活かせる基盤を築く。	30	1	
2		前期	専門	○	セルフブランディング実践ⅡA	Web発信・イベントへの参加をおこないセルフブランディングを実践する。マネタイズやマーケティングを学び、ブランド力と自己PR力を高める。	60	2		○
2		後期	専門	○	セルフブランディング実践ⅡB	Web発信・イベントへの参加をおこないセルフブランディングを実践する。マネタイズやマーケティングを学び、ブランド力と自己PR力を高める。	60	2		○
職業人スキル インターンシップ	2	後期	専門	○	インターンシップⅡA	授業での学びを活かし、ビジネス現場での業務体験を行う。	45	1		○
一般	1	前期	一般	○	表現力ⅠA	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	30	1		○
	1	前期	一般	○	就職支援ⅠA	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○
	1	後期	一般	○	就職支援ⅠB	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○
	2	前期	一般	○	就職支援ⅡA	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○
	1	前期	一般	○	総合演習ⅠA	専門能力、非認知能力、社会人スキル向上を目的とし学科でさまざまな活動をおこなう。	30	1		○
	1	後期	一般	○	総合演習ⅠB	専門能力、非認知能力、社会人スキル向上を目的とし学科でさまざまな活動をおこなう。	30	1		○
	2	後期	一般	○	総合演習ⅡA	専門能力、非認知能力、社会人スキル向上を目的とし学科でさまざまな活動をおこなう。	30	1		○
合計					55 科目	2565 単位時間	( 88 単位)			

卒業要件及び履修方法		授業期間等		
卒業要件：62単位以上取得 必修科目を取得していること 別表（自由選択一覧）より必要単位を修得する		1学年の学期区分	2	期
		1学期の授業期間	15	週

## カリキュラム編成表（授業科目等の概要）

## 令和8年度 商業実務専門課程（ホテル・ブライダル学科）

専門・一般	分野	年次	学期	科目区分	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法		
					必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・
専門	ホテルマンとして必要な知識と技術を習得する	1	前期	専門	○			ホテル概論ⅠA	ホテルに関する基本的知識を習得し、体系的にホテルを理解することを目的とする	30	2	○		
		1	後期	専門	○			ホテル概論ⅠB	ホテルに関する基本的知識を習得し、体系的にホテルを理解することを目的とする	30	2	○		
		2	前期	専門	○			ホテル概論ⅡA	ホテルに関する基本的知識を習得し、体系的にホテルを理解することを目的とする	30	2	○		
		2	後期	専門	○			ホテル概論ⅡB	ホテルに関する基本的知識を習得し、体系的にホテルを理解することを目的とする	30	2	○		
		1	前期	専門	○			FB実務ⅠA	食品衛生及び公衆衛生に関する一般的な知識を習得することを目的とする	90	3		○	
		1	後期	専門	○			FB実務ⅠB	レストランサービスに関する一般的な知識を習得することを目的とする	90	3		○	
		2	前期	専門	○			FB実務ⅡA	食文化に関する知識を習得することを習得することを目的とする	90	3		○	
		2	後期	専門	○			FB実務ⅡB	接客マナー、テーブルサービス方法、実務を学びます	90	3		○	
		1	前期	専門	○			ブライダル総論ⅠA	婚礼の流れや理由等を一連の作業を通して学び、実際に活用できることを目的とする	30	2	○		
		1	後期	専門	○			ブライダル総論ⅠB	婚礼の流れや理由等を一連の作業を通して学び、実際に活用できることを目的とする	30	2	○		
		2	前期	専門	○			ブライダル総論ⅡA	婚礼の流れや理由等を一連の作業を通して学び、実際に活用できることを目的とする	30	2	○		
		2	後期	専門	○			ブライダル総論ⅡB	婚礼の流れや理由等を一連の作業を通して学び、実際に活用できることを目的とする	30	2	○		
	インバウンド対応のできる英語力・日本語力を習得する	2	前期	専門	○			オンライン国際協働学習ⅡA	海外の学生と、共通のテーマで、データ活用をした課題解決学習を実践・発表する（英語使用）	30	1		○	
		1	前期	専門	○			speak outⅠA	実践的に話す力が向上することを目的とする	30	1		○	
		1	後期	専門	○			speak outⅠB	実践的に話す力が向上することを目的とする	30	1		○	
		2	前期	専門	○			speak outⅡA	実践的に話す力が向上することを目的とする	30	1		○	
		2	後期	専門	○			speak outⅡB	実践的に話す力が向上することを目的とする	30	1		○	
		1	前期	専門	○			English presentationⅠA	国際的なコミュニケーション能力の向上を目的とする	30	1		○	
		1	後期	専門	○			English presentationⅠB	国際的なコミュニケーション能力の向上を目的とする	30	1		○	
		2	前期	専門	○			English presentationⅡA	国際的なコミュニケーション能力の向上を目的とする	30	1		○	
		2	後期	専門	○			English presentationⅡB	国際的なコミュニケーション能力の向上を目的とする	30	1		○	
		1	前期	専門	○			JLPTⅠA	JLPT対策講座	60	2		○	
	1	後期	専門	○			JLPTⅠB	JLPT対策講座	60	2		○		
	サービス業に求められる知識と技能を習得する	1	前期	専門	○			サービス接遇ⅠA	お客様へのサービスの基本的テクニックや傾聴姿勢を習得する	30	1		○	
		1	後期	専門	○			サービス接遇ⅠB	お客様へのサービスの基本的テクニックや傾聴姿勢を習得する	30	1		○	
		1	前期	専門	○			サービス接遇ⅠA（留学生）	お客様へのサービスの基本的テクニックや傾聴姿勢を習得する	30	1		○	
		1	後期	専門	○			サービス接遇ⅠB（留学生）	お客様へのサービスの基本的テクニックや傾聴姿勢を習得する	30	1		○	
		2	前期	専門	○			サービス接遇ⅡA	お客様へのサービスの基本的テクニックや傾聴姿勢を習得する	30	1		○	
		2	後期	専門	○			サービス接遇ⅡB	お客様へのサービスの基本的テクニックや傾聴姿勢を習得する	30	1		○	
		1	前期	専門	○			ICT演習ⅠA	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・関数の技術を身につける	30	1		○	
		1	後期	専門	○			ICT演習ⅠB	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・関数の技術を身につける	30	1		○	
		1	前期	専門	○			プレゼンテーションⅠA	パワーポイントの使い方から文章のまとめ方や訴える力など、プレゼンテーションに必要な基本的知識を身に付ける	30	1		○	
		1	後期	専門	○			プレゼンテーションⅠB	パワーポイントの使い方から文章のまとめ方や訴える力など、プレゼンテーションに必要な基本的知識を身に付ける	30	1		○	
1		前期	専門	○			フラワーアレンジメントⅠA	婚礼に必要な知識としてブライダルブーケの基本的テクニックを習得する	30	1		○		
1	後期	専門	○			インターンシップ（国内）ⅠA	授業で学んだホテル・ブライダルの知識を現場で実践躬行することを目的とする	90	2			○		

現場力・実践力を身に付ける	2	前期	専門	○	○	インターンシップ（国内）ⅡA	授業で学んだホテル・ブライダルの知識を現場で実践躬行することを目的とする	180	4			○
	2	前期	専門		○	インターンシップ（留学生）ⅡA	授業で学んだホテル・ブライダルの知識を現場で実践躬行することを目的とする	270	6			○
	2	後期	専門		○	インターンシップ（留学生）ⅡB	授業で学んだホテル・ブライダルの知識を現場で実践躬行することを目的とする	270	6			○
	2	後期	専門		○	インターンシップ（海外）ⅡA	海外にて実践的な英語の活用とマーケティング、イノベーションについて学ぶことを目的とする	450	10			○
一般	1	前期	一般		○	表現力ⅠA	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	30	1			○
	1	前期	一般		○	就職支援ⅠA	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要準備を段階的に進めていく	30	1			○
	1	後期	一般		○	就職支援ⅠB	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要準備を段階的に進めていく	30	1			○
	1	前期	一般		○	総合演習ⅠA	専門能力、非認知能力、社会人スキル向上を目的とし学科でさまざまな活動をおこなう。	30	1			○
	1	後期	一般		○	総合演習ⅠB	専門能力、非認知能力、社会人スキル向上を目的とし学科でさまざまな活動をおこなう。	30	1			○
	2	前期	一般		○	総合演習ⅡA	専門能力、非認知能力、社会人スキル向上を目的とし学科でさまざまな活動をおこなう。	30	1			○
	2	後期	一般		○	総合演習ⅡB	専門能力、非認知能力、社会人スキル向上を目的とし学科でさまざまな活動をおこなう。	30	1			○
合計						46 科目	2790 単位時間	( 87 単位)				

卒業要件及び履修方法	授業期間等		
	卒業要件： 62単位以上取得 必修科目を取得していること	1 学年の学期区分	2
1 学期の授業期間		15	週

## カリキュラム編成表（授業科目等の概要）

令和8年度 商業実務課程（医療事務学科）														
専門・一般	分野	年次	学期	科目区分	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法		
					必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習
専門	医療事務の知識習得	1	前期	専門	○			診療報酬請求（医科）ⅠA	医療現場での請求事務の流れや意義などについて学ぶ	210	7		○	
	調剤事務の知識習得	1	後期	専門	○			診療報酬請求（調剤）ⅠA	医師の処方に基づいて行われる調剤の仕組みを学ぶ	60	2		○	
	歯科の知識習得	2	前期	専門	○			診療報酬請求（歯科）ⅡA	歯科医療事務の基本的知識と一般的な点数算定の原理原則を学ぶ	120	4		○	
	ドクターズクラークの知識習得	2	後期	専門	○			ドクターズクラークⅡA	医師補助としてのカルテ入力方法とポイントを学ぶ	90	3		○	
	医事ソフト・パソコンスキル習得	1	後期	専門	○			医事コンピュータⅠA	診療請求書を実際に作成する時に使用する医療事務コンピュータの操作方法を学ぶ	60	2		○	
	医薬品登録販売者の知識習得	1	前期	専門	○			医薬品基礎ⅠA	医薬品の本質（食品との違いを含む）について学ぶ	75	5	○		
		1	後期	専門	○			医薬品基礎ⅠB	医薬品の本質（食品との違いを含む）について学ぶ	60	4	○		
		2	前期	専門	○			化粧品基礎ⅡA	間違いがち化粧品知識について正解を学び、ニキビ・毛穴・シミ・シワなど肌悩みの対策を学ぶ	60	4	○		
		2	後期	専門	○			化粧品応用ⅡA	化粧品検定の試験対策を行う。見やすいPOP広告を作成する技術を身に付ける	60	2		○	
	診療情報管理士の知識習得	2	前期	専門	○			医療管理総論ⅡA	医療制度の成り立ちと医療関連法規や医療提供システムを学ぶ	15	1	○		
		2	後期	専門	○			診療情報管理論ⅡA	診療録（カルテ）の記載項目の理解と管理体制の仕組みを学ぶ	60	2		○	
		2	後期	専門	○			人体構造・機能論ⅡA	解剖学・組織学といった人体の基本的仕組みを系統的学ぶ	15	1	○		
		2	後期	専門	○			臨床医学総論ⅡA	病気の原因・病態・診断・治療・予防・予後について人体の仕組みから学ぶ	15	1	○		
		1	後期	専門	○			医学用語ⅠA	診療録（カルテ）に記載される用語を学ぶ	15	1	○		
		2	前期	専門	○			医療概論ⅡA	医療と医学の歴史や社会的役割を総合的に学ぶ	15	1	○		
		2	後期	専門	○			臨床医学各論ⅡA	原因別、部位別等に分類されている各疾病の特徴や症状、治療法を学ぶ	30	2	○		
		2	後期	専門	○			臨床医学各論ⅡB	原因別、部位別等に分類されている各疾病の特徴や症状、治療法を学ぶ	45	3	○		
		1	後期	専門	○			医療情報学ⅠA	診療記録の電子化について学び、ITを活用した医療情報システムの現状を学ぶ	15	1	○		
		2	後期	専門	○			医療統計学ⅡA	診療情報を管理・分析し、病院経営に役立てる様々な統計方法を学ぶ	15	1	○		
	卒業研究	2	後期	専門	○			卒業研究ⅡA	これまで学んだ内容や医療分野に関する課題を研究し、発表する	60	2		○	
	実務研修	2	前期	専門	○			医療機関インターンシップⅡA	机上で学んだことを医療機関にて実践する	90	2			○
		1	後期	専門	○			医療機関インターンシップⅠA	机上で学んだことを医療機関にて実践する	45	1			○
		1	後期	専門		○		店舗インターンシップⅠA	机上で学んだことを現場にて実践する（履修登録時点でドラッグストアで勤務確定していること）	180	4			○
	マナー、接客能力	1	前期	専門		○		秘書実務基礎ⅠA	社会人として必要なビジネスマナーや心構えを学ぶ	30	1		○	
		1	後期	専門		○		秘書実務応用ⅠA	社会人として必要なビジネスマナーや心構えを学ぶ	30	1		○	
		1	後期	専門		○		ペン習字ⅠA	患者様対応で必要不可欠なより美しい文字を書くための方法を学ぶ	30	1		○	
	PCスキル習得	1	前期	専門		○		ビジネスIT技術ⅠA	各職種において文書を作成するスキルは、必須である。本科目では、一般的ワープロソフトである「WORD」を使用し、様々な文書を速く正確に作成するスキルを学ぶ。	30	1		○	
		1	後期	専門		○		ビジネスIT技術ⅠB	各職種において文書を作成するスキルは、必須である。本科目では、一般的ワープロソフトである「WORD」を使用し、様々な文書を速く正確に作成するスキルを学ぶ。	30	1		○	
		2	前期	専門	○			ICT活用ⅡA	パワーポイントの使い方から文章のまとめ方や訴える力など、プレゼンテーションに必要な基本的知識を身に付ける。またVRを使用した次世代型プレゼンテーション方法についても学ぶ。	30	1		○	
	一般	1	前期	一般		○		表現力ⅠA	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	30	1		○	
1		前期	一般		○		就職支援ⅠA	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1		○		
1		後期	一般		○		就職支援ⅠB	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1		○		
2		前期	一般		○		就職支援ⅡA	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1		○		
2		後期	一般		○		就職支援ⅡB	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1		○		
1		前期	一般		○		総合演習ⅠA	地域連携を通して医療現場の課題、今後の対応について学ぶ	30	1		○		
1		後期	一般		○		総合演習ⅠB	地域連携を通して医療現場の課題、今後の対応について学ぶ	30	1		○		
2		前期	一般		○		総合演習ⅡA	地域連携を通して医療現場の課題、今後の対応について学ぶ	30	1		○		
2	後期	一般		○		総合演習ⅡB	地域連携を通して医療現場の課題、今後の対応について学ぶ	30	1		○			

					合計	38 科目		1860 単位時間		71	単位)
--	--	--	--	--	----	-------	--	-----------	--	----	-----

卒業要件及び履修方法	授業期間等		
	卒業要件： 62単位以上取得 必修科目を取得していること 別表（自由選択一覧）より必要単位を修得する	1 学年の学期区分	2
1 学期の授業期間		15	週

令和8年度 商業実務専門課程（診療情報管理士研究科）

専門・一般	分野	年次	学期	科目区分	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法		
					必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・
専門	基礎医学	1	前期	専門	○			臨床医学各論ⅢA	原因別、部位別等に分類されている各疾病の特徴や症状、治療法を学ぶ	45	3	○		
		1	後期	専門			○	試験対策演習ⅢA	診療情報管理士の試験合格に向けて演習問題等取り組む	90	3		○	
		1	後期	専門			○	試験対策演習ⅢB	診療情報管理士の試験合格に向けて演習問題等取り組む	90	3		○	
		1	前期	専門	○			基礎医学対策ⅢA	基礎医学の復習と試験に向けての対策を行う	60	2		○	
	専門知識	1	前期	専門	○			医療管理各論ⅢA	病院経営に重要な診療情報の活用に関するしくみを学ぶ	30	2	○		
		1	前期	専門	○			医療管理各論ⅢB	病院経営に重要な診療情報の活用に関するしくみを学ぶ	30	2	○		
		1	前期	専門	○			医療統計学ⅢA	診療情報を管理・分析し、病院経営に役立てる様々な統計方法を学ぶ	30	1		○	
		1	後期	専門	○			専門分野対策ⅢA	専門分野の復習と試験に向けての対策を行う	60	2		○	
	コーディングスキル	1	前期	専門	○			分類法ⅢA	ICD-10の各章に沿った分類と使用方法について学ぶ	60	2		○	
		1	後期	専門	○			分類法ⅢB	ICD-10の各章に沿った分類と使用方法について学ぶ	30	1		○	
		1	前期	専門	○			国際疾病分類概論ⅢA	国際疾病分類（ICD）の概要やその意義などについて学ぶ	30	1		○	
	接遇・マナー	1	前期	専門			○	秘書実務ⅢA	社会人として必要なビジネスマナーや心構えのより高度な考え方を学ぶ	30	1		○	
	実務研修	1	前期	専門	○			病院実習ⅢA	机上で学んだことを医療機関にて実践する	45	1			○
		1	後期	専門	○			病院実習ⅢB	机上で学んだことを医療機関にて実践する	90	2			○
1		後期	専門	○			総合病院研究ⅢA	最先端の病院を見学し、研究・発表することにより診療情報管理のしくみや病院経営などについて学ぶ	45	1			○	
一般	PCスキル	1	前期	一般			○	ICT演習ⅢA	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・データベースの技術を身につける。	30	1		○	
		1	後期	一般			○	ICT演習ⅢB	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・データベースの技術を身につける。	30	1		○	
		1	前期	一般			○	就職支援ⅢA	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1		○	
		1	後期	一般			○	就職支援ⅢB	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1		○	
合計								19 科目	885 単位時間	( 31 単位)				

卒業要件及び履修方法	授業期間等		
卒業要件：31単位以上取得 必修科目を取得していること 別表（自由選択一覧）より必要単位を修得する	1学年の学期区分	2	期
	1学期の授業期間	15	週

## カリキュラム編成表（授業科目等の概要）

## 令和8年度 商業実務専門課程（インターナショナルビジネス学科）

専門・一般	分野	年次	学期	科目区分	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時間数	単位数	授業方法		
					必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技
専門	日本語力	1	前期	専門	○			JLPT I A	レベル別にクラス分けをし、漢字、語彙を身に着ける。新しい文法項目を導入し、意味と使い方を覚える。Google Formで苦手な項目を特定し、知識の定着を図る。読解では情報検索と短文に注力する。 目標：入学時N4→N3合格。入学時N3→N2の基礎をつくる。	60	2		○	
		1	後期	専門	○			JLPT I B	レベル別にクラス分けをし、漢字、語彙を身に着ける。新しい文法項目を導入し、意味と使い方を覚える。Google Formで苦手な項目を特定し、知識の定着を図る。読解では情報検索と短文練習を継続しつつ、中長文に挑戦する。目標：N3保持者→N2合格に向け基礎を固める。	60	2		○	
	ビジネス日本語	1	前期	専門	○			ビジネス日本語 I A	ビジネス・リタラーの基本についての知識・理解を深め、読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく演習しながら、ビジネス日本語の基礎力構築を図る。	15	1	○		
		1	後期	専門	○			ビジネス日本語 I B	I Aで学んだビジネス・リタラーの基本についての知識・理解をさらに深め、日本語運用能力（4技能）の充実を図る。	15	1	○		
		2	前期	専門	○			ビジネス日本語 II A	I A、I Bで学んだビジネス・リタラーの知識・理解をもとに、模擬試験問題や演習問題を通してビジネス能力検定受験に向けての準備を進める。	15	1	○		
		2	後期	専門	○			ビジネス日本語 II B	I A～II Aで学んだ知識と理解をもとに、ビジネス能力検定受験の点数向上に向けて演習問題を継続する。	15	1	○		
	日本社会の理解	1	前期	専門	○			日本社会の理解 I A	富山と北陸の特色を中心に日本で生活を営んでいく上で必要となる日本事情の知識を身に付ける。	60	2		○	
		1	後期	専門	○			日本社会の理解 I B	日本全国の特色を中心に日本で生活を営んでいく上で必要となる日本事情の知識を身に付ける。	60	2		○	
		2	前期	専門	○			日本社会の理解 II A	日本の歴史や文化の変遷（縄文～江戸）を中心に日本で生活を営んでいく上で必要となる日本事情の知識を身に付ける。	60	2		○	
		2	後期	専門	○			日本社会の理解 II B	日本の歴史や文化の変遷（明治～令和）を中心に日本で生活を営んでいく上で必要となる日本事情の知識を身に付ける。	60	2		○	
	日本企業の理解	1	後期	専門	○			日本企業の理解 I A	就職活動に即して、日本の企業文化や企業で求められるリテラシーについての理解を深める	60	2		○	
		2	前期	専門	○			日本企業の理解 II A	就職活動に即して、日本の企業文化や企業で求められるリテラシーについての理解をさらに深める	60	2		○	
	ビジネス英会話	1	前期	専門	○			ビジネス英会話 I A	聴解・読解・ボキャブル・文法を中心とした演習およびRecitation（発表）を通して、英語によるコミュニケーションの基礎力（聴解・読解）を養成する。期中と期末にAchievement Test によるPerformance測定を行う。	60	2		○	
		1	後期	専門	○			ビジネス英会話 I B	聴解・読解・ボキャブル・文法を中心とした演習およびRecitation（発表）を通して、英語によるコミュニケーションの基礎力（聴解・読解）の充実をはかる。基礎クラス期末目標（L/R）：TOEIC Bridge120点、TOEIC310点。応用クラス期末目標（L/R）：TOEIC Bridge150点、TOEIC470点。	60	2		○	
	マーケティング	1	前期	専門	○			マーケティング概論 I A	市場調査や商品開発などマーケティングに関する基本的な考え方や知識を習得する。ケース・スタディの活用や、基礎用語の確認テストを行うことで、より理解を深めマーケティングに対する関心を高める。	30	2	○		
		1	後期	専門	○			マーケティング概論 I B	実際のビジネスケースを使用し、簡単なレポート課題やクイズを行うことで、マーケティング理論の実践方法・活用方法などを学ぶ。また、授業は講義形式ではあるが、グループワークを取り入れ、課題の分析や解決方法の理解を深める。	30	2	○		
	サービス接遇	1	前期	専門	○			サービス接遇 I A	ペアやグループによるワーク演習を織り交ぜながら、ビジネスマナーおよびサービス接遇についての基本的な知識と理解を深める。	30	1		○	
		1	後期	専門	○			サービス接遇 I B	ペアやグループによるワーク演習を織り交ぜながら、ビジネスマナーおよびサービス接遇についての基礎的な知識と理解を深める。	30	1		○	
		2	前期	専門	○			サービス接遇 II A	サービス接遇検定3級の取得に向け問題演習を行いながら、知識の定着を図る。	30	1		○	
		2	後期	専門	○			サービス接遇 II B	プレゼンテーションを重視した演習を織り交ぜながら、ビジネスマナーおよびサービス接遇の実践的スキルを修得し、サービスの現場で求められるより高度な知識とスキルを習得する。	30	1		○	
	ICTスキル	1	前期	専門	○			PC文書作成 I A	一般的なワープロソフトである「Word」を使用し、文字入力や基本的な文書作成を学ぶ。頻出用語の確認を通し、日本語版Wordの理解を深める。また、制限時間を設けたタイピングテストを行うことで、日本語の文字入力を素早く性格にできるレベルまで引き上げる。	30	1		○	
		1	後期	専門	○			PC文書作成 I B	「Word」の応用的な操作を学ぶ。画像や図形をはじめとするグラフィック要素の使用や、複合的な操作を身に付ける。タイピングのテストやゲーム、様々な文書の作成を繰り返し行うことで、全経文書処理検定（ワープロ）3級に合格できるレベルまで引き上げる。	30	1		○	
		2	前期	専門	○			PCデータ活用 II A	企業で広く使用されている「Excel」を使用し、表の作成、データ入力、関数について学ぶ。全経文書処理検定（表計算）3級の出題ポイントをおさえた演習問題を行う。	30	1		○	
		2	後期	専門	○			PCデータ活用 II B	II Aで学習した内容の定着を図るため、「Excel」を目的に応じて使う練習を行い、実践力を高める。	30	1		○	
		2	前期	専門	○			PCプレゼンテーション II A	パワーポイントを用いた実践的プレゼンテーション技法の基礎を習得する。	30	1		○	
		2	後期	専門	○			PCプレゼンテーション II B	パワーポイントを用いた実践的プレゼンテーション技法の基礎を習得し、テーマに沿って効果的に発表を行う。	30	1		○	
	簿記会計	1	前期	専門	○			簿記・会計 I A	簿記を通して一般職および会計職に必要な基礎的知識を習得する。	60	2		○	
		1	後期	専門	○			簿記・会計 I B	一般職および会計職に必要な知識をさらに充実させ、会計的観点から管理業務についての理解を深める。	60	2		○	
	マネジメント	2	前期	専門	○			サービスマネジメント II A	宿泊・飲食・物販等のサービス業におけるマネジメントの基礎（考え方・専門用語等）について学ぶ。	60	2		○	
		2	後期	専門	○			サービスマネジメント II B	宿泊・飲食・物販等のサービス業における実践的マネジメントについて学ぶ。	60	2		○	
	インターンシップ	2	前期	専門	○			インターンシップ II A	企業での実務研修を通して、これまで学んだビジネス日本語・ビジネスマナー・サービス接遇等の知識・技術を現場実践するとともに、業界・企業・職種についての理解を深め、将来の就職に備える。	45	1			○
			1	後期	一般		○	地域で実践するSDGs I A	地域の企業や団体と連携してSDGsの課題を見つけ、解決の糸口を探す。	30	1		○	

一般	地域連携	2	前期	一般	○	地域で実践するSDGs II A	IAで見つけた課題を掘り下げ、海外の人と日本人の視点の双方で地域の課題の解決に取り組む。	30	1		○
		2	後期	一般	○	地域で実践するSDGs II B	IA、IIAで取り組んだ内容の総まとめ。スライドを用いて、連携してきた地域、企業の担当者にプレゼンテーションを行う。	30	1		○
	キャリア支援	1	前期	一般	○	就職支援 IA	自分自身で目標を立て、目標実現に向け取り組むことを意識していく。また、クラスの一員としての意識を持ち、関与できるよう様々な取り組みを行っていく。	30	1		○
		1	後期	一般	○	就職支援 IB	将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、就職に必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○
	表現力	1	前期	一般	○	表現力 IA	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける。	30	1		○
	総合演習	1	通年	一般	○	総合演習 IA	学内外のイベントや地域連携活動を通し、非認知能力や日本における社会人としての素養を養う。	30	1		○
		2	通年	一般	○	総合演習 II A	学内外のイベントや地域連携活動を通し、非認知能力や日本における社会人としての素養を養う。	30	1		○
	合計						39 科目	1545 単位時間	55 単位)		

卒業要件及び履修方法		授業期間等		
卒業要件：62単位以上取得 必修科目を取得していること 別表（自由選択一覧）より必要単位を修得する		1 学年の学期区分	2	期
		1 学期の授業期間	15	週

## カリキュラム編成表（授業科目等の概要）

令和8年度 商業実務専門課程（大学併修学科）															
専門・一般	分野	年次	学期	科目区分	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法			
					必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習	
開志創造大学 科目	一般	1	通年	学習基盤	○			ポートフォリオⅠA	1年目は、ポートフォリオ思考とPBL（Project Based Learning）の基本を学びます。学生は個人的な目標を設定し、人生設計の初歩を学ぶと同時に、PBLを通じてチームでの協力とプロジェクトの進行を経験します。GitHubを利用して学習成果とプロジェクトの進捗をまとめ、外部に発信するスキルを習得します。学生は自己評価を行い、初めてのポートフォリオとPBLプロジェクトを通じてフィードバックと評価を受けます。	15	1	○			
		2	通年		○			ポートフォリオⅡA	ポートフォリオⅠに引き続き、学びの統合を進めて行く科目。ポートフォリオⅠで学んだリフレクションをより実質的なものとして高めていくため、他科目の中で学ぶ、専門・教養の知識、IT技術・データサイエンスなど演習の成果、さらに、知識・成果を得るためのプロセスを、ポートフォリオを通じてリフレクションする。	15	1	○			
		1	前期		○			経営学基礎ⅠA	組織のビジョンや戦略を立てる能力や、リーダーシップやコミュニケーションスキルなどの人間関係を築く能力などを養成する。経営学の基本的な知識や理論を修得する。	30	2	○			
		1	後期		○			会計簿記ⅠA	簿記の基本からスタートし、ベンチャー企業の経理に特化した実践的な演習を通じて会計の全体像を把握します。初歩的な会計の理論から始め、財務諸表の作成、経費の計上、資産の管理まで、経営に必要な会計処理の流れを体系的に学びます。	30	2	○			
		1	前期		○			PBL入門ⅠA	従来の働き方に加え、オンラインでの働き方が通常の現代において、非同期、オンラインでのプロジェクト参加、運営の基本スキルを学ぶ科目。プロジェクトという期間・目標のある活動における適切なコミュニケーションスキルを、実習を通じて学ぶ。この科目では特に、非同期のやり取りを念頭に、文章や録画された動画での発信スキルと受信スキル（読み方）に焦点を当て、どう言葉（How）にするかだけでなく、何を言葉（What）にするかから、基礎力を養っていく。	30	2	○			
		1	後期		○			情報入門ⅠA	情報通信技術の基礎的な知識とその応用について学びます。	15	1	○			
		1	後期		○			生成AI活用ⅠA	前期に続けて、この授業では、アメリカやイギリスの英語に限らず、国際的な場面でのコミュニケーションに求められる「国際英語」のリスニング能力の基礎を養います。多様な英語のアクセントや発音を理解し、国際社会で活躍するための確固たる英語力を築くことを目指します。	30	2	○			
		2	後期		○			英語リスニングⅡA	前期に続けて、この授業では、アメリカやイギリスの英語に限らず、国際的な場面でのコミュニケーションに求められる「国際英語」のリスニング能力の基礎を養います。多様な英語のアクセントや発音を理解し、国際社会で活躍するための確固たる英語力を築くことを目指します。	30	2	○			
		2	前期		○			英語コミュニケーションⅡA	前期に続けて、この授業では、アメリカやイギリスの英語に限らず、国際的な場面でのコミュニケーションに求められる「国際英語」のリスニング能力の基礎を養います。多様な英語のアクセントや発音を理解し、国際社会で活躍するための確固たる英語力を築くことを目指します。	30	2	○			
		3	前期		○			英語ビジネスコミュニケーションⅢA	ビジネス環境での英語スキルを向上させます。ビジネスメールやレポートの作成、プレゼンテーション技法、会議や交渉のスキル、ビジネス英語の専門用語などを学びます。実践的なコミュニケーション演習を通じて、ビジネス上の状況での適切な英語表現やコミュニケーションスタイルを修得します。	30	2	○			
		1	後期		○			Linux入門ⅠA	この授業では、Windows Subsystem for Linux (WSL) を活用し、Linux環境をバーチャルマシン上で学びます。学生はWindowsマシン上でLinuxを操作し、基本的なコマンド、ファイル管理、システム管理のスキルを獲得します。授業では、Linuxのコアコンセプトと操作方法、さらにLinuxがビジネス環境でどのように活用されているかに焦点を当てます。この科目は、ビジネスITコースの学生にとって、実務でのLinux利用に必要な基本的な知識と技能を提供することを目的としています。	30	2	○			
		2	前期		○			マーケティングⅡA	市場と顧客に焦点を当て、マーケティングの基本概念と戦略を学びます。市場調査や顧客分析、競合分析、自社分析を通じて、需要と競争状況を理解し、ターゲット市場とセグメンテーションの手法を修得します。製品やサービスの価値提案、ブランド構築、プロモーション、価格設定、流通などのマーケティングミックス要素を探索し、戦略的なマーケティング計画立案方法を学びます。市場環境の変化や消費者行動のトレンドに対応する能力を身につけます。	30	2	○			
		3	後期		○			サービスデザインⅢA	サービス・イノベーションが求められる日本の現状を踏まえて、サービスの設計・提供・改善に関する基礎を理解し、効率的なサービスシステムを実現するスキルを習得します。サービスの基礎、製造業とサービス業、サービスの最適設計ループ、顧客ニーズの理解、効果的なサービス戦略を立案する方法、サービス品質の評価手法、顧客満足度や従業員満足度の向上、価値共創の実現などについて学びます。授業全体を通じて、ものづくりからことづくしの転換、顧客エクスペリエンスの提供、イノベーションやクリエイティブなサービスの開発方法について、事例を踏まえながら考察します。	30	2	○			
		1	後期		○			プログラミング基礎ⅠA	C言語は、コンピュータの動作原理に近い低水準言語であり、多くのオペレーティングシステムやアプリケーションソフトウェアの開発に用いられています。C言語を用いてプログラミングの基本的な概念と技術を学びます。C言語の特徴や文法、データ型、変数、演算子、制御文、関数、ポインタ、配列、文字列などの基本的な概念を理解し、簡単なプログラムを作成する能力を養います。また、アルゴリズムの理解と設計、デバッグ技術、テスト方法、コードの読みやすさと保守性についても学びます。	30	2	○			
		4	前期		○			ソフトウェアデザインⅣA	ソフトウェア設計の基本から現代的なデザイン手法までを具体的な開発作業を行いながら4つのセッションを通じて学びます。まず、最初のセッションでは、ソフトウェア工学の基本からユーザの要求の分析と仕様策定に必要な考え方や技術について学びます。	30	2	○			
		1	後期		○			コンピュータアーキテクチャⅠA	現代社会の至る所で活躍しているコンピュータの動作原理を紐解き、基礎的な知識と応用的な技術を学びます。ソフトウェアがコンピュータでどう実行されるかを示し、その性能向上のテクニック - 抽象化・高速化・並列処理・パイプライン処理・投機的実行・記憶階層・冗長化を理解します。	30	2	○			
	3	後期	○			ソフトウェアアーキテクチャⅢA	現代社会の至る所で活躍しているコンピュータの動作原理を紐解き、基礎的な知識と応用的な技術を学びます。ソフトウェアがコンピュータでどう実行されるかを示し、その性能向上のテクニック - 抽象化・高速化・並列処理・パイプライン処理・投機的実行・記憶階層・冗長化を理解します。	30	2	○					
	1	後期	○			データサイエンス入門ⅠA	確率統計に3回を割り当て、演習や小テストを通じて理解を深めます。また、統計的手法による機械学習や回帰分析、ニューラルネットワークによる分析も後半に取り入れています。全体を通じて、データサイエンスの基本的な知識と技術を習得できます。	30	2	○					
	3	後期	○			データサイエンス基礎ⅢA	データサイエンスの基本的な知識をさらに拡張し、実際の技術と実務経験を提供することを目的としています。初期段階では、データの収集、整理、および解析の基本的な方法に焦点を当て、その後、機械学習と深層学習の基本的なコンセプトと技術に移行します。学生は、実際のデータセットを使用して、機械学習アルゴリズムの設計、評価、および実装を学びます。	30	2	○					
	3	後期	○			データサイエンス発展ⅢA	深層学習によるデータ分析と生成技術を探求し、現実世界の問題解決にどのようにこれらの先進技術を適用できるかを学びます。	30	2	○					
	2	前期	○			ファシリテーション入門ⅡA	現状で明らかになっていない実世界の課題解決に向けて、顧客インタビューなどによる質的調査の実施と定性データの分析方法を学びます。また、実際の顧客インタビューのエクセサイズを通じて、ニーズや問題を抽出し、グループでの議論を通じて解決策を提案します。顧客とのコミュニケーション能力を高めて、実世界の問題解決の経験を得る機会となります。また、既にポートフォリオとPBLの基礎を学習している場合には、この授業は実際のフィールドでの問題解決スキルを高めるステップとなります。	30	2	○					
	2	前期	○			フィールドワーク入門ⅡA	現状で明らかになっていない実世界の課題解決に向けて、顧客インタビューなどによる質的調査の実施と定性データの分析方法を学びます。また、実際の顧客インタビューのエクセサイズを通じて、ニーズや問題を抽出し、グループでの議論を通じて解決策を提案します。顧客とのコミュニケーション能力を高めて、実世界の問題解決の経験を得る機会となります。また、既にポートフォリオとPBLの基礎を学習している場合には、この授業は実際のフィールドでの問題解決スキルを高めるステップとなります。	30	2	○					
	2	後期	○			ソフトウェアアーキテクチャⅡA	ソフトウェアアーキテクチャの基本概念と主要なアーキテクチャスタイルに焦点を当てます。学生は、スタンドアロン型、サーバー・クライアント型、およびSaaS型のアーキテクチャの特性と適用例を理解し、それぞれの利点と制約を評価します。また、クラウドコンピューティングの基本と主なクラウドシステムの利用方法についても学びます。このコースは、ソフトウェア開発の実務知識とクラウド技術の適用、並列計算の基本的な概念を置き、ソフトウェアアーキテクチャの理論的背景と現代のソフトウェア開発環境におけるアーキテクチャの重要性を学生に伝えることを目的としています。	30	2	○					
	2	前期	○			ソフトウェア開発ⅡA	ソフトウェア開発は、個々のエンジニアのスキルにとどまるものではありません。現代のソフトウェア開発は、複数の専門家が協力し、単一のサービスやプロダクトを生み出す複雑なプロセスにより行われます。また、高品質なソフトウェアサービスを提供するためには、適切なアーキテクチャの選択とソフトウェアの設計がプログラミングスキル以上に重要です。本講義では、ソフトウェア設計に不可欠な主要なアーキテクチャスタイルやデザインパターンに焦点を当て、それらの理解を深めます。	30	2	○					
	4	前期	○			ソフトウェア開発ⅣA	ソフトウェア開発は、個々のエンジニアのスキルにとどまるものではありません。現代のソフトウェア開発は、複数の専門家が協力し、単一のサービスやプロダクトを生み出す複雑なプロセスにより行われます。また、高品質なソフトウェアサービスを提供するためには、適切なアーキテクチャの選択とソフトウェアの設計がプログラミングスキル以上に重要です。本講義では、ソフトウェア設計に不可欠な主要なアーキテクチャスタイルやデザインパターンに焦点を当て、それらの理解を深めます。	30	2	○					
	専門	開志創造大学 科目	3	通年	研究・実践	○			ポートフォリオⅢA	受講者が選択したドメインにおける成果、また、プロジェクト参加、倫理的判断力などの社会人基礎力に焦点を当ててリフレクションし、ショーケースの作成を行う。	30	1	○		
			4	通年		○			ポートフォリオⅣA	これまでに身に付いたことを踏まえて、ポートフォリオ1～ポートフォリオ3で立てた個人目標を見直し、学びの成果を実社会で発揮することを目指し、ショーケースを作成する。	30	1	○		
			2	前期		○			DXプロジェクトⅡA	販売、製造、美容、農業などにおけるドメイン現場のビジネスシーン題材に、ニーズ分析の仕方、提案の仕方など、ドメイン知識と情報デザインの知識の組み合わせ方の基礎を学ぶ	15	1	○		
			2	後期		○			DXプロジェクトⅡB	販売、製造、美容、農業などにおけるドメイン現場のビジネスシーン題材に、ニーズ分析の仕方、提案の仕方など、ドメイン知識と情報デザインの知識の組み合わせ方の基礎を学ぶ	15	1	○		
			3	前期		○			DXプロジェクトⅢA	販売、製造、美容、農業などにおけるドメイン現場について複数の視点を含む実際のビジネスシーンを題材に、情報デザイン知識・スキルをもとにしたソリューションの導き方を学ぶ	15	1	○		
			3	後期		○			DXプロジェクトⅢB	販売、製造、美容、農業などにおけるドメイン現場について複数の視点を含む実際のビジネスシーンを題材に、情報デザイン知識・スキルをもとにしたソリューションの導き方を学ぶ	15	1	○		
			4	前期		○			DXプロジェクトⅣA	実際のビジネスシーンの探索からスタートし、ソリューションに至るまでを体験する	15	1	○		
			4	後期		○			DXプロジェクトⅣB	実際のビジネスシーンの探索からスタートし、ソリューションに至るまでを体験する	15	1	○		
			3	前期		○			アントレプレナーⅢA	起業家の特徴、行動原理、イノベーションの必要性、市場分析の重要性について学びます。加えて、ビジネスモデルの類型化を理解し、VCからの投資フェーズごとの違いとその戦略的意義について探求します。	30	2	○		
			4	前期		○			コーポレートファイナンスⅣA	資金の調達方法から資本の効率的な使い道まで、企業のお金の流れを見るための基本的な知識と技術を習得します。	30	2	○		
			3	前期		○			プロジェクトマネジメント入門ⅢA	起業家の特徴、行動原理、イノベーションの必要性、市場分析の重要性について学びます。加えて、ビジネスモデルの類型化を理解し、VCからの投資フェーズごとの違いとその戦略的意義について探求します。	30	2	○		

富山情報ビジネス専門学校科目

富山情報 ビジネス専 門学校科 目	3	後期	ケ テ ム ン グ	○	プロジェクトマネジメント発展ⅢB	資金の調達方法から資本の効率的な使い道まで、企業のお金の流れを見るための基本的な知識と技術を習得します。	30	2	○			
	3	後期			○	総合学習ⅢA	学修全体を総合的に捉え、学びを深める	45	3	○		
	4	後期			○	総合学習ⅣA	学修全体を総合的に捉え、学びを深める	45	3	○		
	2	前期		○	デジタルマーケティングⅡA	InstagramやLINE等のSNSマーケティングの基礎や活用事例を学びながら、実際にSNSマーケティング発信を実践する	30	1		○		
	3	前期	語 学	○	Speak outⅢA	実践的に話す力が向上することを目的とする	30	1		○		
	3	後期		○	Speak outⅢB	実践的に話す力が向上することを目的とする	30	1		○		
	3	前期		○	English presentationⅢA	国際的なコミュニケーション能力の向上を目的とする	30	1		○		
	3	後期		○	English presentationⅢB	国際的なコミュニケーション能力の向上を目的とする	30	1		○		
	3	前期	ビ ジ ネ ス	○	オンライン国際協働学習ⅢA	海外の学生と、共通のテーマでデータマーケティングを実施し、企画案をプレゼンする（英語使用）	60	2		○		
	1	前期		○	プレゼンテーションⅠA	パワーポイントやCANVA等のプレゼンテーション資料作成ツールの操作、資料のまとめ方等、プレゼンテーションに必要な基本的スキルを身に付ける	30	1		○		
	1	後期		○	プレゼンテーションⅠB	自己紹介、あいさつ、発声、司会進行、プレゼンテーション等のコミュニケーションの基本を身につける	30	1		○		
	2	前期		○	リサーチ・コミュニケーションⅡA（ファシリテーション）	多様な立場からの意見を整理し、チームの合意形成を図るためのファシリテーションスキルとリーダーシップを身につける	30	1		○		
	1	前期		○	リサーチメソッドⅠA	リサーチに必要となる定性調査（記述式アンケート調査、インタビュー調査）の技法を身につける。	60	4	○			
	1	後期		○	リサーチメソッドⅠB	定量調査基礎：基本的統計を理解し、エクセルを使用した数量データの調査・分析（相関分析）・グラフ作成力を身につける	30	2	○			
	2	前期		○	リサーチメソッドⅡA	定性調査実践：SNSやインターネット上の質的データを収集し、テキストマイニング分析等で可視化する手法を身につける	60	4	○			
	2	後期		○	リサーチメソッドⅡB	調査のニーズに応じて定性・定量分析を使いこなす力と、ビジネスで求められるレベルの分析レポートや提案資料をまとめる応用力を身につける	30	2	○			
	4	前期		○	卒業研究ⅣA	卒業にあたり、自らが発見した課題に対しデータマーケティングを活用した事業提案を行う。powerpoint形式でのプレゼンテーション資料をまとめる	90	3		○		
	4	後期		○	卒業研究ⅣB	卒業研究ⅡAで作成した事業案をポスターとして資料作成し、卒業成果として発表する	90	3		○		
	1	前期	研 究 ・ 実 践	○	フィールドワークⅠA	フィールド調査の基本を学びながら、地域社会や企業の現場を視察し、インタビューを実践する	30	1		○		
	1	後期		○	課題解決学習ⅠA	地域課題をテーマに、リサーチし、アイデアをまとめ、外部向け報告発表を目指す	60	2		○		
2	後期	○		課題解決学習ⅡA	地域課題をテーマに、リサーチし、アイデアをまとめ、ビジネスコンテスト出場を目指す	60	2		○			
3	後期	○		課題解決学習ⅢA	地域課題をテーマに、リサーチし、アイデアをまとめ、外部向け報告発表を目指す	60	2		○			
3	後期	○		インターンシップⅢA	ビジネス現場にて、顧客対応や販売、マーケティング、データマーケティングを学ぶ	135	3			○		
4	後期	○		インターンシップⅣA	ビジネス現場にて、顧客対応や販売、マーケティング、データマーケティングを学ぶ	135	3			○		
1	前期	情 報 ・ 工 学		○	ICT演習ⅠA	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・関数の技術を身につける。	30	1		○		
1	後期			○	ICT演習ⅠB	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・関数の技術を身につける。	30	1		○		
2	前期		○	システム開発技法ⅡA	ウォーターフォール型のシステム開発手順における外部設計・内部設計の基本知識から実践まで、課題を通して理解を深める。	60	2		○			
3	前期		○	Web演習ⅢA	XHTMLとスタイルシート、JavaScriptを使ったWebページ作りを実際にテキストエディタでタグを記述しながら学びます。	30	1		○			
3	後期		○	Web演習ⅢA	XHTMLとスタイルシート、JavaScriptを使ったWebページ作りを実際にテキストエディタでタグを記述しながら学びます。	30	1		○			
4	前期		○	アルゴリズムとデータ構造ⅣA	論理的な思考の訓練を行う。プログラミング基礎であるアルゴリズムを理解することで論理的思考の訓練を行うとともに問題解決の手順を理解し、情報処理技術者試験の基礎知識を学ぶ。	60	4	○				
4	後期		○	アルゴリズムとデータ構造ⅣB	論理的な思考の訓練を行う。プログラミング基礎であるアルゴリズムを理解することで論理的思考の訓練を行うとともに問題解決の手順を理解し、情報処理技術者試験の基礎知識を学ぶ。	60	4	○				

一般	1	前期	○	総合演習ⅠA	専門能力、非認知能力、社会人スキル向上を目的とし学科でさまざまな活動をおこなう。	30	1		○
	1	後期	○	総合演習ⅠB	専門能力、非認知能力、社会人スキル向上を目的とし学科でさまざまな活動をおこなう。	30	1		○
	2	前期	○	総合演習ⅡA	専門能力、非認知能力、社会人スキル向上を目的とし学科でさまざまな活動をおこなう。	30	1		○
	2	後期	○	総合演習ⅡB	専門能力、非認知能力、社会人スキル向上を目的とし学科でさまざまな活動をおこなう。	30	1		○
	3	前期	○	総合演習ⅢA	専門能力、非認知能力、社会人スキル向上を目的とし学科でさまざまな活動をおこなう。	30	1		○
	3	後期	○	総合演習ⅢB	専門能力、非認知能力、社会人スキル向上を目的とし学科でさまざまな活動をおこなう。	30	1		○
	4	前期	○	総合演習ⅣA	専門能力、非認知能力、社会人スキル向上を目的とし学科でさまざまな活動をおこなう。	30	1		○
	4	後期	○	総合演習ⅣB	専門能力、非認知能力、社会人スキル向上を目的とし学科でさまざまな活動をおこなう。	30	1		○
	1	前期	○	表現力ⅠA	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	30	1		○
	1	前期	○	就職支援ⅠA	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○
	2	前期	○	就職支援ⅡA	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○
	2	後期	○	就職支援ⅡB	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○
	3	前期	○	就職支援ⅢA	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○
	3	後期	○	就職支援ⅢB	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○
	4	前期	○	就職支援ⅣA	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○
	4	後期	○	就職支援ⅣB	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○
	合計					83 科目	2985 単位時間	140 単位)	

卒業要件及び履修方法	授業期間等		
卒業要件：124単位以上取得 必修科目を取得していること 別表（自由選択一覧）より必要単位を修得する	1学年の学期区分	2	期
	1学期の授業期間	15	週

## カリキュラム編成表（授業科目等の概要）

令和8年度 商業実務専門課程（大学併修学科）																	
専門・一般	分野	年次	学期	科目区分	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法					
					必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習			
開志創造 大学 科目	一般	1	通年	学習 基盤	○			ポートフォリオⅠA	1年目は、ポートフォリオ思考とPBL（Project Based Learning）の基本を学びます。学生は個人的な目標を設定し、人生設計の初歩を学ぶと同時に、PBLを通じてチームでの協力とプロジェクトの進行を経験します。GitHubを利用して学習成果とプロジェクトの進捗をまとめ、外部に発信するスキルを習得します。学生は自己評価を行い、初めてのポートフォリオとPBLプロジェクトを通じてフィードバックと評価を受けます。	15	1	○					
		2	通年		○			ポートフォリオⅡA	ポートフォリオⅠに引き続き、学びの統合を進めて行く科目。ポートフォリオⅠで学んだリフレクションをより実質的なものとして高めていくため、他科目の中で学ぶ、専門・教養の知識、IT技術・データサイエンスなど演習の成果、さらに、知識・成果を得るためのプロセスを、ポートフォリオを通じてリフレクションする。	15	1	○					
		1	前期		○			経営学基礎ⅠA	組織のビジョンや戦略を立てる能力や、リーダーシップやコミュニケーションスキルなどの人間関係を築く能力などを養成する。経営学の基本的な知識や理論を修得する。	30	2	○					
		1	後期		○			会計簿記ⅠA	簿記の基本からスタートし、ベンチャー企業の経理に特化した実践的な演習を通じて会計の全体像を把握します。初歩的な会計の理論から始め、財務諸表の作成、経費の計上、資産の管理まで、経営に必要な会計処理の流れを体系的に学びます。	30	2	○					
		1	前期		○			PBL入門ⅠA	従来の働き方に加え、オンラインでの働き方が通常の現代において、非同期、オンラインでのプロジェクト参加、運営の基本スキルを学ぶ科目。プロジェクトという期間・目標のある活動における適切なコミュニケーションスキルを、実習を通じて学ぶ。この科目では特に、非同期のやり取りを念頭に、文章や録画された動画での発信スキルと受信スキル（読み方）に焦点を当て、どう言葉（How）にするかだけでなく、何を言葉（What）にするかから、基礎力を養っていく。	30	2	○					
		1	後期		○			情報入門ⅠA	情報通信技術の基礎的な知識とその応用について学びます。	15	1	○					
		1	後期		○			生成AI活用ⅠA	前期に続けて、この授業では、アメリカやイギリスの英語に限らず、国際的な場面でのコミュニケーションに求められる「国際英語」のリスニング能力の基礎を養います。多様な英語のアクセントや発音を理解し、国際社会で活躍するための確固たる英語力を築くことを目指します。	30	2	○					
		2	後期		○			英語リスニングⅡA	前期に続けて、この授業では、アメリカやイギリスの英語に限らず、国際的な場面でのコミュニケーションに求められる「国際英語」のリスニング能力の基礎を養います。多様な英語のアクセントや発音を理解し、国際社会で活躍するための確固たる英語力を築くことを目指します。	30	2	○					
		2	前期		○			英語コミュニケーションⅡA	前期に続けて、この授業では、アメリカやイギリスの英語に限らず、国際的な場面でのコミュニケーションに求められる「国際英語」のリスニング能力の基礎を養います。多様な英語のアクセントや発音を理解し、国際社会で活躍するための確固たる英語力を築くことを目指します。	30	2	○					
		3	前期		○			英語ビジネスコミュニケーションⅢA	ビジネス環境での英語スキルを向上させます。ビジネスメールやレポートの作成、プレゼンテーション技法、会議や交渉のスキル、ビジネス英語の専門用語などを学びます。実践的なコミュニケーション演習を通じて、ビジネス上の状況での適切な英語表現やコミュニケーションスタイルを修得します。	30	2	○					
		1	後期		○		情報・ 工学	○			Linux入門ⅠA	この授業では、Windows Subsystem for Linux (WSL) を活用し、Linux環境をバーチャルマシン上で学びます。学生はWindowsマシン上でLinuxを操作し、基本的なコマンド、ファイル管理、システム管理のスキルを獲得します。授業では、Linuxのコアコンセプトと操作方法、さらにLinuxがビジネス環境でどのように活用されているかに焦点を当てます。この科目は、ビジネスITコースの学生にとって、実務でのLinux利用に必要な基本的な知識と技能を提供することを目的としています。	30	2	○		
		2	前期		○				マーケティングⅡA	市場と顧客に焦点を当て、マーケティングの基本概念と戦略を学びます。市場調査や顧客分析、競合分析、自社分析を通じて、需要と競争状況を理解し、ターゲット市場とセグメンテーションの手法を修得します。製品やサービスの価値提案、ブランド構築、プロモーション、価格設定、流通などのマーケティングミックス要素を探索し、戦略的なマーケティング計画立案方法を学びます。市場環境の変化や消費者行動のトレンドに対応する能力を身につけます。	30	2	○				
		3	後期		○				サービスデザインⅢA	サービス・イノベーションが求められる日本の現状を踏まえて、サービスの設計・提供・改善に関する基礎を理解し、効率的なサービスシステムを実現するスキルを習得します。サービスの基礎、製造業とサービス業、サービスの最適設計ループ、顧客ニーズの理解、効果的なサービス戦略を立案する方法、サービス品質の評価手法、顧客満足度や従業員満足度の向上、価値共創の実現などについて学びます。授業全体を通じて、ものづくりからことづくしの転換、顧客エクスペリエンスの提供、イノベーションやクリエイティブなサービスの開発方法について、事例を踏まえながら考察します。	30	2	○				
		1	後期		○				プログラミング基礎ⅠA	C言語は、コンピュータの動作原理に近い低水準言語であり、多くのオペレーティングシステムやアプリケーションソフトウェアの開発に用いられています。C言語を用いてプログラミングの基本的な概念と技術を学びます。C言語の特徴や文法、データ型、変数、演算子、制御文、関数、ポインタ、配列、文字列などの基本的な概念を理解し、簡単なプログラムを作成する能力を養います。また、アルゴリズムの理解と設計、デバッグ技術、テスト方法、コードの読みやすさと保守性についても学びます。	30	2	○				
		4	前期		○				ソフトウェアデザインⅣA	ソフトウェア設計の基本から現代的なデザイン手法までを具体的な開発作業を行いながら4つのセッションを通じて学びます。まず、最初のセッションでは、ソフトウェア工学の基本からユーザの要求の分析と仕様策定に必要な考え方や技術について学びます。	30	2	○				
		1	後期		○				コンピュータアーキテクチャⅠA	現代社会の至る所で活躍しているコンピュータの動作原理を紐解き、基礎的な知識と応用的な技術を学びます。ソフトウェアがコンピュータでどう実行されるかを示し、その性能向上のテクニック - 抽象化・高速化・並列処理・パイプライン処理・投機的実行・記憶階層・冗長化を理解します。	30	2	○				
		3	後期		○				ソフトウェアアーキテクチャⅢA	現代社会の至る所で活躍しているコンピュータの動作原理を紐解き、基礎的な知識と応用的な技術を学びます。ソフトウェアがコンピュータでどう実行されるかを示し、その性能向上のテクニック - 抽象化・高速化・並列処理・パイプライン処理・投機的実行・記憶階層・冗長化を理解します。	30	2	○				
		1	後期		○				データサイエンス入門ⅠA	確率統計に3回を割り当て、演習や小テストを通じて理解を深めます。また、統計的手法による機械学習や回帰分析、ニューラルネットワークによる分析も後半に取り入れています。全体を通じて、データサイエンスの基本的な知識と技術を習得できます。	30	2	○				
	3	後期	○			データサイエンス基礎ⅢA		データサイエンスの基本的な知識をさらに拡張し、実際の技術と実務経験を提供することを目的としています。初期段階では、データの収集、整理、および解析の基本的な方法に焦点を当て、その後、機械学習と深層学習の基本的なコンセプトと技術に移行します。学生は、実際のデータセットを使用して、機械学習アルゴリズムの設計、評価、および実装を学びます。	30	2	○						
	3	後期	○			データサイエンス発展ⅢA		深層学習によるデータ分析と生成技術を探求し、現実世界の問題解決にどのようにこれらの先進技術を適用できるかを学びます。	30	2	○						
	2	前期	○			ファシリテーション入門ⅡA		現状で明らかになっていない実世界の課題解決に向けて、顧客インタビューなどによる質的調査の実施と定性データの分析方法を学びます。また、実際の顧客インタビューのエクセサイズを通じて、ニーズや問題を抽出し、グループでの議論を通じて解決策を提案します。顧客とのコミュニケーション能力を高めて、実世界の問題解決の経験を得る機会となります。また、既にポートフォリオとPBLの基礎を学習している場合には、この授業は実際のフィールドでの問題解決スキルを高めるステップとなります。	30	2	○						
	2	前期	○			フィールドワーク入門ⅡA		現状で明らかになっていない実世界の課題解決に向けて、顧客インタビューなどによる質的調査の実施と定性データの分析方法を学びます。また、実際の顧客インタビューのエクセサイズを通じて、ニーズや問題を抽出し、グループでの議論を通じて解決策を提案します。顧客とのコミュニケーション能力を高めて、実世界の問題解決の経験を得る機会となります。また、既にポートフォリオとPBLの基礎を学習している場合には、この授業は実際のフィールドでの問題解決スキルを高めるステップとなります。	30	2	○						
	2	後期	○			ソフトウェアアーキテクチャⅡA		ソフトウェアアーキテクチャの基本概念と主要なアーキテクチャスタイルに焦点を当てます。学生は、スタンドアロン型、サーバー・クライアント型、およびSaaS型のアーキテクチャの特性と適用例を理解し、それぞれの利点と制約を評価します。また、クラウドコンピューティングの基本と主なクラウドシステムの利用方法についても学びます。このコースは、ソフトウェア開発の実務知識とクラウド技術の適用、並列計算の基本的な概念を置き、ソフトウェアアーキテクチャの理論的背景と現代のソフトウェア開発環境におけるアーキテクチャの重要性を学生に伝えることを目的としています。	30	2	○						
	2	前期	○			ソフトウェア開発ⅡA		ソフトウェア開発は、個々のエンジニアのスキルにとどまるものではありません。現代のソフトウェア開発は、複数の専門家が協力し、単一のサービスやプロダクトを生み出す複雑なプロセスにより行われます。また、高品質なソフトウェアサービスを提供するためには、適切なアーキテクチャの選択とソフトウェアの設計がプログラミングスキル以上に重要です。本講義では、ソフトウェア設計に不可欠な主要なアーキテクチャスタイルやデザインパターンに焦点を当て、それらの理解を深めます。	30	2	○						
	4	前期	○			ソフトウェア開発ⅣA		ソフトウェア開発は、個々のエンジニアのスキルにとどまるものではありません。現代のソフトウェア開発は、複数の専門家が協力し、単一のサービスやプロダクトを生み出す複雑なプロセスにより行われます。また、高品質なソフトウェアサービスを提供するためには、適切なアーキテクチャの選択とソフトウェアの設計がプログラミングスキル以上に重要です。本講義では、ソフトウェア設計に不可欠な主要なアーキテクチャスタイルやデザインパターンに焦点を当て、それらの理解を深めます。	30	2	○						
	3	通年	○		研究・ 実践	○				ポートフォリオⅢA	受講者が選択したドメインにおける成果、また、プロジェクト参加、倫理的判断力などの社会人基礎力に焦点を当ててリフレクションし、ショーケースの作成を行う。	30	1	○			
	4	通年	○					○		ポートフォリオⅣA	これまでに身に付いたことを踏まえて、ポートフォリオ1～ポートフォリオ3で立てた個人目標を見直し、学びの成果を実社会で発揮することを目指し、ショーケースを作成する。	30	1	○			
	2	前期	○					○		DXプロジェクトⅡA	販売、製造、美容、農業などにおけるドメイン現場のビジネスシーン題材に、ニーズ分析の仕方、提案の仕方など、ドメイン知識と情報デザインの知識の組み合わせ方の基礎を学ぶ	15	1	○			
	2	後期	○				○		DXプロジェクトⅡB	販売、製造、美容、農業などにおけるドメイン現場のビジネスシーン題材に、ニーズ分析の仕方、提案の仕方など、ドメイン知識と情報デザインの知識の組み合わせ方の基礎を学ぶ	15	1	○				
	3	前期	○				○		DXプロジェクトⅢA	販売、製造、美容、農業などにおけるドメイン現場について複数の視点を含む実際のビジネスシーンを題材に、情報デザイン知識・スキルをもとにしたソリューションの導き方を学ぶ	15	1	○				
	3	後期	○				○		DXプロジェクトⅢB	販売、製造、美容、農業などにおけるドメイン現場について複数の視点を含む実際のビジネスシーンを題材に、情報デザイン知識・スキルをもとにしたソリューションの導き方を学ぶ	15	1	○				
	4	前期	○				○		DXプロジェクトⅣA	実際のビジネスシーンの探索からスタートし、ソリューションに至るまでを体験する	15	1	○				
	4	後期	○				○		DXプロジェクトⅣB	実際のビジネスシーンの探索からスタートし、ソリューションに至るまでを体験する	15	1	○				
	3	前期	○			実 践	○			アントレプレナーⅢA	起業家の特徴、行動原理、イノベーションの必要性、市場分析の重要性について学びます。加えて、ビジネスモデルの類型化を理解し、VCからの投資フェーズごとの違いとその戦略的意義について探求します。	30	2	○			
	4	前期	○					○		コーポレートファイナンスⅣA	資金の調達方法から資本の効率的な使い道まで、企業のお金の流れを見るための基本的な知識と技術を習得します。	30	2	○			
	3	前期	○					○		プロジェクトマネジメント入門ⅢA	起業家の特徴、行動原理、イノベーションの必要性、市場分析の重要性について学びます。加えて、ビジネスモデルの類型化を理解し、VCからの投資フェーズごとの違いとその戦略的意義について探求します。	30	2	○			

富山情報ビジネス専門学校科目

富山情報ビジネス専門学校科目	3	後期	ケ テ ム ン グ	○	プロジェクトマネジメント発展ⅢB	資金の調達方法から資本の効率的な使い道まで、企業のお金の流れを見るための基本的な知識と技術を習得します。	30	2	○			
	3	後期			○	総合学習ⅢA	学修全体を総合的に捉え、学びを深める	45	3	○		
	4	後期			○	総合学習ⅣA	学修全体を総合的に捉え、学びを深める	45	3	○		
	2	前期		○	デジタルマーケティングⅡA	InstagramやLINE等のSNSマーケティングの基礎や活用事例を学びながら、実際にSNSマーケティング発信を実践する	30	1		○		
	3	前期	語 学	○	Speak outⅢA	実践的に話す力が向上することを目的とする	30	1		○		
	3	後期		○	Speak outⅢB	実践的に話す力が向上することを目的とする	30	1		○		
	3	前期		○	English presentationⅢA	国際的なコミュニケーション能力の向上を目的とする	30	1		○		
	3	後期		○	English presentationⅢB	国際的なコミュニケーション能力の向上を目的とする	30	1		○		
	3	前期	ビ ジ ネ ス	○	オンライン国際協働学習ⅢA	海外の学生と、共通のテーマでデータマーケティングを実施し、企画案をプレゼンする（英語使用）	60	2		○		
	1	前期		○	プレゼンテーションⅠA	パワーポイントやCANVA等のプレゼンテーション資料作成ツールの操作、資料のまとめ方等、プレゼンテーションに必要な基本的スキルを身に付ける	30	1		○		
	1	後期		○	プレゼンテーションⅠB	自己紹介、あいさつ、発声、司会進行、プレゼンテーション等のコミュニケーションの基本を身につける	30	1		○		
	2	前期		○	リサーチ・コミュニケーションⅡA（ファシリテーション）	多様な立場からの意見を整理し、チームの合意形成を図るためのファシリテーションスキルとリーダーシップを身につける	30	1		○		
	1	前期		○	リサーチメソッドⅠA	リサーチに必要となる定性調査（記述式アンケート調査、インタビュー調査）の技法を身につける。	60	4	○			
	1	後期		○	リサーチメソッドⅠB	定量調査基礎：基本的統計を理解し、エクセルを使用した数量データの調査・分析（相関分析）・グラフ作成力を身につける	30	2	○			
	2	前期		○	リサーチメソッドⅡA	定性調査実践：SNSやインターネット上の質的データを収集し、テキストマイニング分析等で可視化する手法を身につける	60	4	○			
	2	後期		○	リサーチメソッドⅡB	調査のニーズに応じて定性・定量分析を使いこなす力と、ビジネスで求められるレベルの分析レポートや提案資料をまとめる応用力を身につける	30	2	○			
	4	前期		○	卒業研究ⅣA	卒業にあたり、自らが発見した課題に対しデータマーケティングを活用した事業提案を行う。powerpoint形式でのプレゼンテーション資料をまとめる	90	3		○		
	4	後期		○	卒業研究ⅣB	卒業研究ⅡAで作成した事業案をポスターとして資料作成し、卒業成果として発表する	90	3		○		
	1	前期	研 究 ・ 実 践	○	フィールドワークⅠA	フィールド調査の基本を学びながら、地域社会や企業の現場を視察し、インタビューを実践する	30	1		○		
	1	後期		○	課題解決学習ⅠA	地域課題をテーマに、リサーチし、アイデアをまとめ、外部向け報告発表を目指す	60	2		○		
2	後期	○		課題解決学習ⅡA	地域課題をテーマに、リサーチし、アイデアをまとめ、ビジネスコンテスト出場を目指す	60	2		○			
3	後期	○		課題解決学習ⅢA	地域課題をテーマに、リサーチし、アイデアをまとめ、外部向け報告発表を目指す	60	2		○			
3	後期	○		インターンシップⅢA	ビジネス現場にて、顧客対応や販売、マーケティング、データマーケティングを学ぶ	135	3			○		
4	後期	○		インターンシップⅣA	ビジネス現場にて、顧客対応や販売、マーケティング、データマーケティングを学ぶ	135	3			○		
1	前期	情 報 ・ 工 学		○	ICT演習ⅠA	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・関数の技術を身につける。	30	1		○		
1	後期			○	ICT演習ⅠB	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・関数の技術を身につける。	30	1		○		
2	前期		○	システム開発技法ⅡA	ウォーターフォール型のシステム開発手順における外部設計・内部設計の基本知識から実践まで、課題を通して理解を深める。	60	2		○			
3	前期		○	Web演習ⅢA	XHTMLとスタイルシート、JavaScriptを使ったWebページ作りを実際にテキストエディタでタグを記述しながら学びます。	30	1		○			
3	後期		○	Web演習ⅢB	XHTMLとスタイルシート、JavaScriptを使ったWebページ作りを実際にテキストエディタでタグを記述しながら学びます。	30	1		○			
4	前期		○	アルゴリズムとデータ構造ⅣA	論理的な思考の訓練を行う。プログラミング基礎であるアルゴリズムを理解することで論理的思考の訓練を行うとともに問題解決の手順を理解し、情報処理技術者試験の基礎知識を学ぶ。	60	4	○				
4	後期		○	アルゴリズムとデータ構造ⅣB	論理的な思考の訓練を行う。プログラミング基礎であるアルゴリズムを理解することで論理的思考の訓練を行うとともに問題解決の手順を理解し、情報処理技術者試験の基礎知識を学ぶ。	60	4	○				

一般	一般	1	前期	○	総合演習ⅠA	専門能力、非認知能力、社会人スキル向上を目的とし学科でさまざまな活動をおこなう。	30	1		○
		1	後期	○	総合演習ⅠB	専門能力、非認知能力、社会人スキル向上を目的とし学科でさまざまな活動をおこなう。	30	1		○
		2	前期	○	総合演習ⅡA	専門能力、非認知能力、社会人スキル向上を目的とし学科でさまざまな活動をおこなう。	30	1		○
		2	後期	○	総合演習ⅡB	専門能力、非認知能力、社会人スキル向上を目的とし学科でさまざまな活動をおこなう。	30	1		○
		3	前期	○	総合演習ⅢA	専門能力、非認知能力、社会人スキル向上を目的とし学科でさまざまな活動をおこなう。	30	1		○
		3	後期	○	総合演習ⅢB	専門能力、非認知能力、社会人スキル向上を目的とし学科でさまざまな活動をおこなう。	30	1		○
		4	前期	○	総合演習ⅣA	専門能力、非認知能力、社会人スキル向上を目的とし学科でさまざまな活動をおこなう。	30	1		○
		4	後期	○	総合演習ⅣB	専門能力、非認知能力、社会人スキル向上を目的とし学科でさまざまな活動をおこなう。	30	1		○
		1	前期	○	表現力ⅠA	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	30	1		○
		1	前期	○	就職支援ⅠA	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○
		2	前期	○	就職支援ⅡA	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○
		2	後期	○	就職支援ⅡB	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○
		3	前期	○	就職支援ⅢA	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○
		3	後期	○	就職支援ⅢB	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○
		4	前期	○	就職支援ⅣA	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○
		4	後期	○	就職支援ⅣB	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○
		合計		83 科目		2985 単位時間		140 単位)		

卒業要件及び履修方法	授業期間等		
卒業要件：124単位以上取得 必修科目を取得していること 別表（自由選択一覧）より必要単位を修得する	1学年の学期区分	2	期
	1学期の授業期間	15	週

カリキュラム編成表（授業科目等の概要）

令和8年度 文化・教養専門課程（日本語学科1年半課程）													
科目区分①	科目区分②	年次	学期	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法		
				必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技
	日本語の運用能力を習得する	1	後期	○			総合日本語ⅠA	読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、参照枠A2後半～B1前半レベルの日本語力の構築を図る。	288	16	○		
		2	前期	○			総合日本語ⅡA	読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、参照枠B1後半～B2前半レベルの日本語力の構築を図る。	252	14	○		
		2	後期	○			総合日本語ⅡB	読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、参照枠B2レベルの日本語力の構築を図る。	252	14	○		
		1	後期	○			漢字ⅠA	生活で必要とされる基礎的な漢字の意味理解、読み、打ち、書きの技能を段階的に習得する。	36	2	○		
		2	前期	○			漢字ⅡA	進学先で必要とされる応用的な漢字の意味理解、読み、打ち、書きの技能を段階的に習得する。	36	2	○		
		2	後期	○			漢字ⅡB	進学先で必要とされる応用的な漢字の意味理解、読み、打ち、書きの技能を段階的に習得する。	36	2	○		
	日本語の受容能力を習得する	1	後期			○	言語知識ⅠA	日本語能力試験で出題される文字・語彙・文法・読解・聴解分野の問題を用いながら、言語運用能力の下支えとなる言語知識を習得し、日本語の受容力の向上を図る。	18	1	○		
		2	前期			○	言語知識ⅡA	日本語能力試験で出題される文字・語彙・文法・読解・聴解分野の問題を用いながら、言語運用能力の下支えとなる言語知識を習得し、日本語の受容力の向上を図る。	36	2	○		
		2	後期			○	言語知識ⅡB	日本語能力試験で出題される文字・語彙・文法・読解・聴解分野の問題を用いながら、言語運用能力の下支えとなる言語知識を習得し、日本語の受容力の向上を図る。	36	2	○		
	日本語の産出能力を習得し、多様性の意識を育む	1	後期			○	プロジェクトワークⅠA	日本理解のテーマに即して、テーマ調査、情報収集、議論、資格資料の準備、発表内容の記述、発表、振り返りなどを行い、高等教育機関進学後に必要とされる産出力（記述・発信）の向上を図る。	18	1	○		
		2	前期			○	プロジェクトワークⅡA	地域理解のテーマに即して、テーマ調査、情報収集、議論、資格資料の準備、発表内容の記述、発表、振り返りなどを行い、高等教育機関進学後に必要とされる産出力（記述・発信）の向上を図る。	36	1		○	
		2	後期			○	プロジェクトワークⅡB	異文化理解、他者理解のテーマに即して、テーマ調査、情報収集、議論、資格資料の準備、発表内容の記述、発表、振り返りなどを行い、高等教育機関進学後に必要とされる産出力（記述・発信）の向上を図る。	36	1		○	
	異文化適応の意識を育む	1	後期			○	日本の社会と文化ⅠA	日本社会を生きる上での基礎的知識（ルール・マナー、文化、習慣、制度など）を身につける。	36	2	○		
	自立学習を確立し、未来設計をする	1	後期			○	キャリアマネジメントⅠA	・ポートフォリオを振り返りながら自己の学習や能力を客観視する。自律学習の方法を学ぶ。 ・役所、アルバイト先、図書館、各種サービスの利用、緊急時などの時々出会う場面での、目的を達成するために効果的な日本語の知識を学び、やり取りできるようになる。 ・地域に関心を向け、地域連携活動に参加することで、社会参加の意識を持つ。	36	2	○		
		2	前期			○	キャリアマネジメントⅡA	・ポートフォリオを振り返りながら自己の学習や能力を客観視する。自律学習の方法を学ぶ。 ・進学に必要な文書の読解と文書作成のスキルを習得する。 ・地域活動を通して、フィールドワークに必要な総合的なコミュニケーション能力を身につける。	36	1		○	
		2	後期			○	キャリアマネジメントⅡB	・ポートフォリオを振り返りながら自己の学習や能力を客観視する。自律学習の方法を学ぶ。 ・進学に必要な文書の読解と文書作成のスキルを習得する。 ・地域活動を通して、フィールドワークに必要な総合的なコミュニケーション能力を身につける。	36	1		○	
	合計								1224 単位時間	(	64	単位)	

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件：60単位履修 ※時間でなく単位のみ 必修科目を取得していること	1学年の学期区分	2 期
	1学期の授業期間	18 週

カリキュラム編成表（授業科目等の概要）

令和8年度 文化・教養専門課程（日本語学科2年課程）

科目区分①	科目区分②	年次	学期	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法		
				必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技
専門	日本語の運用能力を習得する	1	前期	○			総合日本語ⅠA	読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、参照枠A1～A2前半レベルの日本語力の構築を図る。	288	16	○		
		1	後期	○			総合日本語ⅠB	読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、参照枠A2後半～B1前半レベルの日本語力の構築を図る。	288	16	○		
		2	前期	○			総合日本語ⅡA	読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、参照枠B1後半～B2前半レベルの日本語力の構築を図る。	252	14	○		
		2	後期	○			総合日本語ⅡB	読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、参照枠B2レベルの日本語力の構築を図る。	252	14	○		
		1	前期	○			漢字ⅠA	生活で必要とされる基礎的な漢字の意味理解、読み、打ち、書きの技能を段階的に習得する。	36	2	○		
		1	後期	○			漢字ⅠB	生活で必要とされる基礎的な漢字の意味理解、読み、打ち、書きの技能を段階的に習得する。	36	2	○		
		2	前期	○			漢字ⅡA	進学先で必要とされる応用的な漢字の意味理解、読み、打ち、書きの技能を段階的に習得する。	36	2	○		
		2	後期	○			漢字ⅡB	進学先で必要とされる応用的な漢字の意味理解、読み、打ち、書きの技能を段階的に習得する。	36	2	○		
	日本語の受容能力を習得する	1	後期		○		言語知識ⅠA	日本語能力試験で出題される文字・語彙・文法・読解・聴解分野の問題を用いながら、言語運用能力の下支えとなる言語知識を習得し、日本語の受容力の向上を図る。	18	1	○		
		2	前期		○		言語知識ⅡA	日本語能力試験で出題される文字・語彙・文法・読解・聴解分野の問題を用いながら、言語運用能力の下支えとなる言語知識を習得し、日本語の受容力の向上を図る。	36	2	○		
		2	後期		○		言語知識ⅡB	日本語能力試験で出題される文字・語彙・文法・読解・聴解分野の問題を用いながら、言語運用能力の下支えとなる言語知識を習得し、日本語の受容力の向上を図る。	36	2	○		
	日本語の産出能力を習得し、多様性の意識を育む	1	後期		○		プロジェクトワークⅠA	日本理解のテーマに即して、テーマ調査、情報収集、議論、資格資料の準備、発表内容の記述、発表、振り返りなどを行い、高等教育機関進学後に必要とされる産出力（記述・発信）の向上を図る。	18	1	○		
		2	前期		○		プロジェクトワークⅡA	地域理解のテーマに即して、テーマ調査、情報収集、議論、資格資料の準備、発表内容の記述、発表、振り返りなどを行い、高等教育機関進学後に必要とされる産出力（記述・発信）の向上を図る。	36	1		○	
		2	後期		○		プロジェクトワークⅡB	異文化理解、他者理解のテーマに即して、テーマ調査、情報収集、議論、資格資料の準備、発表内容の記述、発表、振り返りなどを行い、高等教育機関進学後に必要とされる産出力（記述・発信）の向上を図る。	36	1		○	
	異文化適応の意識を育む	1	前期		○		日本の社会と文化ⅠA	日本社会を生きる上での基礎的知識（ルール・マナー、文化、習慣、制度など）を身につける。	36	2	○		
	自立学習を確立し、未来設計をする	1	前期		○		キャリアマネジメントⅠA	・ポートフォリオを振り返りながら自己の学習や能力を客観視する。自律学習の方法を学ぶ。 ・学校、駅、銀行、郵便局、買い物などの場面で用いられる表現や言い回しを学び、日本生活で必ず出会う場面でのタスクの達成を目指す。 ・地域に関心を向け、地域連携活動に参加することで、社会参加の意識を持つ。	36	2	○		
		1	後期		○		キャリアマネジメントⅠB	・ポートフォリオを振り返りながら自己の学習や能力を客観視する。自律学習の方法を学ぶ。 ・地域に関心を向け、地域連携活動に参加することで、社会参加の意識を持つ。 ・役所、アルバイト先、図書館、各種サービスの利用、緊急時などの時々出会う場面での、目的を達成するために効果的な日本語の知識を学び、やり取りできるようになる。	36	2	○		
		2	前期		○		キャリアマネジメントⅡA	・ポートフォリオを振り返りながら自己の学習や能力を客観視する。自律学習の方法を学ぶ。 ・進学に必要な文書の読解と文書作成のスキルを習得する。 ・地域活動を通して、フィールドワークに必要な総合的なコミュニケーション能力を身につける。	36	1		○	
		2	後期		○		キャリアマネジメントⅡB	・ポートフォリオを振り返りながら自己の学習や能力を客観視する。自律学習の方法を学ぶ。 ・進学に必要な文書の読解と文書作成のスキルを習得する。 ・地域活動を通して、フィールドワークに必要な総合的なコミュニケーション能力を身につける。	36	1		○	
	合計								1584 単位時間	(	84	単位)	

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件：80単位履修 ※時間でなく単位のみ 必修科目を取得していること	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	18 週

別表)

R8自由選択科目一覧表

分野	年次	学期	科目区分	授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法		
								講義	演習	実験・実習・実技
AIプログラミング	2	前期	一般	アプリ制作ⅡA	プログラミング言語を用いた簡単なアプリケーションづくりを行う。	30	1		○	
	2	後期	一般	アプリ制作ⅡB	プログラミング言語を用いた簡単なアプリケーションづくりを行う。	30	1		○	
	2	前期	一般	AI本論ⅡA	G検定合格を目指し、AIやディープラーニング等についての知識を身に付ける。	30	1		○	
	2	後期	一般	AI本論ⅡB	G検定合格を目指し、AIやディープラーニング等についての知識を身に付ける。	30	1		○	
	2	前期	一般	AI実践ⅡA	多岐にわたるカスタマイズされたAIメニューの作成や改変を通じて、実用的なAI開発能力を養う。	30	1		○	
	2	後期	一般	AI実践ⅡB	多岐にわたるカスタマイズされたAIメニューの作成や改変を通じて、実用的なAI開発能力を養う。	30	1		○	
システムエンジニア	2	前期	一般	Excel演習ⅡA	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・関数の技術を身につける。	30	1		○	
	2	後期	一般	Excel演習ⅡB	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・関数の技術を身につける。	30	1		○	
ゲーム	3	前期	一般	サウンドⅢA	ゲームのBGMや効果音の制作を行う	60	2		○	
	3	前期	一般	一般教養ⅢA	就職活動に必要な筆記試験の対策授業を行う	30	2	○		
建築士	2	後期	専門	環境設備ⅡA	建築環境工学の基礎的な知識として、熱、光、空気、音の分野について学習。知識の習得を行う建築現場において使用される設備機器について基本的な内容を学ぶ	60	2		○	
	2	後期	専門	建築法規ⅡB	建築物の設計、施工に必要な不可欠である建築基準法と関係法令について条文の主旨、内容の理解を図る	60	2		○	
	2	後期	専門	建築施工ⅡB	建築施工の位置づけと建築生産の基本理念を理解する。建築工事を構成する各工種について、その内容と全体の施工計画について概要を理解する	30	1		○	
	2	後期	専門	設計演習ⅡA(製図)	配置図、平面図、断面図、立面図、矩計図の描き方を習得し、各自で条件にあったフリープランを作成する	60	2		○	
	2	前期	専門	Photoshop・illustratorⅡA	Photoshop、illustratorを使用して作品を製作する	30	1		○	
	2	後期	専門	Photoshop・illustratorⅡB	Photoshop、illustratorを使用して作品を製作する	30	1		○	
	2	前期	専門	インテリアデザインⅡA	インテリアコーディネート・デザインを学習する	30	1		○	
	2	後期	専門	インテリアデザインⅡB	インテリアコーディネート・デザインを学習する	30	1		○	
	2	前期	専門	測量士ⅡA	測量士補試験を学習する	60	2		○	
	2	後期	専門	測量士ⅡB	測量士補試験を学習する	60	2		○	
Webクリエイター	2	前期	専門	Web解析入門ⅡA	Webサイトの利用状況を分析し、改善に活かす力を養う。Googleアナリティクス認定資格取得を目指し、データ解析とマーケティングの基礎を実践的に学ぶ。	30	2	○		
	2	前期	専門	プレゼンテーションⅡA	発表の構成力を養い、目的に応じた資料作成やツール選択を学ぶ。実践を通じて効果的に伝えるプレゼン技術を身につける。	60	1		○	
	2	前期	専門	SNSプランニングⅡA	企業や団体等と連携し、質向上や課題解決のための活動をおこなう。これを通して効果的なプレゼンテーションや情報発信、レビューと報告について現場で学ぶ。	60	2		○	
	2	後期	専門	SNSプランニングⅡB	企業や団体等と連携し、質向上や課題解決のための活動をおこなう。これを通して効果的なプレゼンテーションや情報発信、レビューと報告について現場で学ぶ。	60	2		○	
ホテル・ブライダル	2	前期	専門	色彩ⅡA	色がもたらす影響や力、そして活用術を学び、実践できることを目指す	30	1		○	
	2	後期	専門	色彩ⅡB	色がもたらす影響や力、そして活用術を学び、実践できることを目指す	30	1		○	
	2	前期	専門	JLPTⅡA	漢字、語彙を身に着ける。新しい文法項目を導入し、意味と使い方を覚える。読解では情報検索と短文に注力する。目標:N2合格	60	2		○	
	2	後期	専門	JLPTⅡB	レベル別にクラス分けをし、漢字、語彙を身に着ける。新しい文法項目を導入し、意味と使い方を覚える。読解では情報検索と短文練習を継続しつつ、中長文に挑戦する。目標:N2合格	60	2		○	
美容・医療事務	2	後期	専門	診療報酬請求(介護)ⅡA	介護報酬請求事務の仕組みを学び、高齢者サービスの実情を学ぶ	60	2		○	
	2	前期	専門	秘書実務ⅡA	社会人として必要なビジネスマナーや心構えのより高度な考え方を学ぶ	30	1		○	
	2	前期	専門	ICT演習ⅡA	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・データベースの技術を身につける。	30	1		○	
	2	後期	専門	ICT演習ⅡB	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・データベースの技術を身につける。	30	1		○	
	2	前期	専門	国家試験対策ⅡA	医薬品登録販売者試験に向けての対策を行う(医薬品基礎を履修済みに限る)	150	5		○	

	2	後期	専門	国家試験対策ⅡB	医薬品登録販売者試験に向けての対策を行う(医薬品基礎を履修済みに限る)	60	2		○	
	2	前期	専門	店舗インターンシップⅡA	机上で学んだことを現場にて実践する(医薬品基礎を履修済みに限る)(履修登録時点でドラッグストアで勤務確定していること)	180	4			○
	2	後期	専門	店舗インターンシップⅡB	机上で学んだことを現場にて実践する(医薬品基礎を履修済みに限る)(履修登録時点でドラッグストアで勤務確定していること)	180	4			○
マーケティング	2	前期	専門	企業経営と会計ⅡA	会計や簿記の基本的仕組みを学ぶ。財務諸表の事例分析を通じて、ビジネスモデルの特徴をとらえる力を養い、会計データ活用の方法を理解する。	30	1		○	
インターナショナルビジネス	2	前期	専門	JLPTⅡA	レベル別にクラス分けをし、漢字、語彙を身に着ける。新しい文法項目を導入し、意味と使い方を覚える。Google Formを用いたミニテストで苦手な項目を特定し、知識の定着を図る。読解では情報検索と短文に注力する。目標:N2合格、PJC.C-以上	60	2		○	
	2	後期	専門	JLPTⅡB	レベル別にクラス分けをし、漢字、語彙を身に着ける。新しい文法項目を導入し、意味と使い方を覚える。Google Formを用いたミニテストで苦手な項目を特定し、知識の定着を図る。読解では情報検索と短文を継続しつつ、中長文の形式になれる。目標:N2合格、PJC.C-以上	60	2		○	
	2	前期	一般	就職支援ⅡA	日本企業への就職に向けて必要なことを学び、面接対策、筆記試験対策を行い、就職活動につなげる。必要に応じて、特定技能試験やJFT対策を行う。	30	1		○	
	2	後期	一般	就職支援ⅡB	日本企業への就職に向けて必要なことを学び、面接対策、筆記試験対策を行い、就職活動につなげる。必要に応じて、特定技能試験やJFT対策を行う。	30	1		○	
	2	前期	一般	ビジネス英会話ⅡA	期首プレースメント・テストによる2レベル編成とし、模擬試験問題の徹底演習を通して、英語によるコミュニケーションの応用力(聴解・読解・発話)を養成する。期中と期末にAchievement Test による Performance測定を行う。	60	2		○	
	2	後期	一般	ビジネス英会話ⅡB	個々の学生に合わせて、以下の2レベル編成とし、模擬試験問題の徹底演習と Presentation を通して、英語によるコミュニケーション応用力(聴解・読解・発話)の充実をはかる。基礎クラス期末目標(L/R):TOEIC Bridge140点、TOEIC400点。応用クラス期末目標(L/R):TOEIC Bridge170点、TOEIC700点。	60	2		○	
						合計	2220	単位時間	71	単位

令和8年度学費一覧

学 費

■1学年

	情報システム学科		Webクリエイター学科		ホテル・ブライダル学科		美容・医療事務学科	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
入学金	200,000		200,000		200,000		200,000	
授業料	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000
施設設備費	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000
演習充実費	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000
合 計	635,000	435,000	635,000	435,000	635,000	435,000	635,000	435,000

	診療情報管理士研究科		インターナショナルビジネス学科		建築・デザイン学科		公務員学科	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
入学金	200,000		200,000		200,000		200,000	
授業料	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000
施設設備費	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000
演習充実費	110,000	110,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000
合 計	685,000	485,000	635,000	435,000	635,000	435,000	635,000	435,000

	情報ビジネス学科		先端技術研究科		建築士研究科		歯科衛生士学科	
	前期	前期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
入学金	200,000		200,000		200,000		200,000	
授業料	295,000	295,000	147,500	147,500	147,500	147,500	295,000	295,000
施設設備費	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000
演習充実費	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000
合 計	635,000	435,000	487,500	287,500	487,500	287,500	635,000	435,000

	ゲームクリエイター学科		大学併修学科	
	前期	後期	前期	後期
入学金	200,000		170,000	
授業料	295,000	295,000	170,000	170,000
施設設備費	80,000	80,000	80,000	80,000
演習充実費	60,000	60,000	110,000	110,000
合 計	635,000	435,000	530,000	360,000

■2学年

	情報システム学科		Webクリエイター学科		ホテル・ブライダル学科		美容・医療事務学科	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
入学金								
授業料	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000
施設設備費	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000
演習充実費	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000
合 計	485,000	485,000	485,000	485,000	485,000	485,000	485,000	485,000

	インターナショナルビジネス学科		建築・デザイン学科		情報ビジネス学科		歯科衛生士学科	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
入学金								
授業料	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000
施設設備費	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000
演習充実費	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000
合 計	485,000	485,000	485,000	485,000	485,000	485,000	485,000	485,000

	大学併修学科	
	前期	後期
入学金		
授業料	170,000	170,000
施設設備費	80,000	80,000
演習充実費	110,000	110,000
合 計	360,000	360,000

■3学年

	歯科衛生士学科		大学併修学科	
	前期	後期	前期	後期
入学金				
授業料	295,000	295,000	170,000	170,000
施設設備費	80,000	80,000	80,000	80,000
演習充実費	110,000	110,000	110,000	110,000
合 計	485,000	485,000	360,000	360,000

■4学年

	大学併修学科	
	前期	後期
入学金		
授業料	170,000	170,000
施設設備費	80,000	80,000
演習充実費	110,000	110,000
合 計	360,000	360,000

日本語学科 1学年

	1年半課程		2年課程	
	前期	後期	前期	後期
入学金		200,000	200,000	
授業料		240,000	240,000	240,000
合 計		440,000	440,000	240,000

※諸経費として入学時120,000円、その後毎期50,000円が必要です。

日本語学科 2学年

	1年半課程及び2年課程	
	前期	後期
入学金		
授業料	240,000	240,000
合 計	240,000	240,000